

Walk in home 2021

操作マニュアル

図面編集編



テクニカルサポート

サポートお問い合わせフォーム：<https://anshin-support.jp/form/help-desk-service>

営業時間：月曜～土曜日の午前9:00～午後8:00迄（日祝日および弊社指定休日を除く）

改版履歷

目次

1. 伏図アプリケーション	5
1-1. 出力方法	5
2. 図面用レイヤ制御（グループ・レイヤ）	7
2-1. ボタンの状態と下書きの表示	7
2-2. グループ・レイヤの表示・非表示方法	8
3. 設計図書出力	12
3-1. 出力方法	12
4. 図面作成機能	15
4-1. 図面作成（一括）機能・出力方法	15
4-2. 図面一覧（作成済）機能	18
4-2-1. 出力方法	18
4-2-2. タブに図面を追加	19
4-3. 図面レイアウト機能	21
4-3-1. 出力方法・使用例	21
4-3-2. Walk in home18 の注記レイヤのコンバート	23
5. 図面拡張機能	25
5-1. 拡張ポップアップ	25
5-1-1. 表示設定方法	25
5-1-2. カスタマイズ方法	27
5-2. 図面編集用の入力ツールバー（注意：アイコン下文字見切れ有）	29
5-3. 背景色の選択・グリッド線表示	29
5-3-1. 背景色の選択方法	29
5-3-2. グリッド線表示・非表示方法	33
5-4. 図面作成（部分）機能	34
6. 下書き編集機能	38
6-1. 機能一覧	38
6-2. 線分伸縮	38
1) 伸縮	38
2) 端点移動	40
6-3. 延長止線	40

1) 指定方法：1点	41
2) 指定方法：線分クロス	42
3) 補足	42
6-4. 連続延長	43
1) 指定方法：1点	43
2) 指定方法：線分クロス	44
3) 補足	44
6-5. 線分間カット	45
1) 内消	45
2) 外消	46
6-6. 円弧削除	47
1) 内消	47
2) 外消	48
6-7. クリップ	49
1) 内消	49
2) 外消	51
6-8. 文字クリップ	53
1) オフセット	53
2) 囲み線	54
7. 図面バックアップ	55
7-1. 編集図面のバックアップ	55
7-2. バックアップした図面の表示	56
7-3. バックアップした図面の削除	57

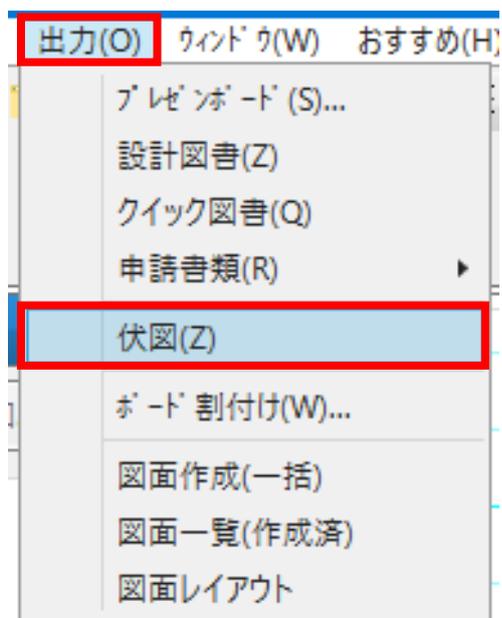
1. 伏図アプリケーション

1-1. 出力方法

【出力フロー】

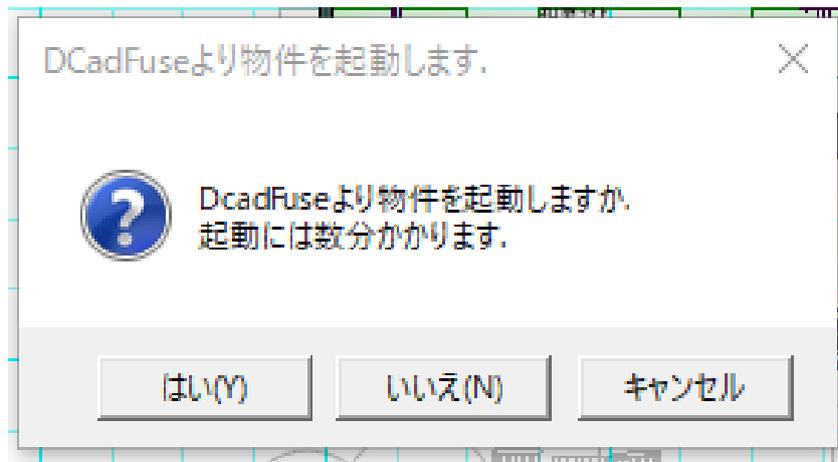
- 
- ① 「出力」タブ
 - ② タブ内「伏図」
 - ③ 表示されたウィンドウの「はい」
 - ④ 出力完了

【手順詳細】



- ① 「出力」タブを開いてください。
- ② 「伏図」を押下してください。

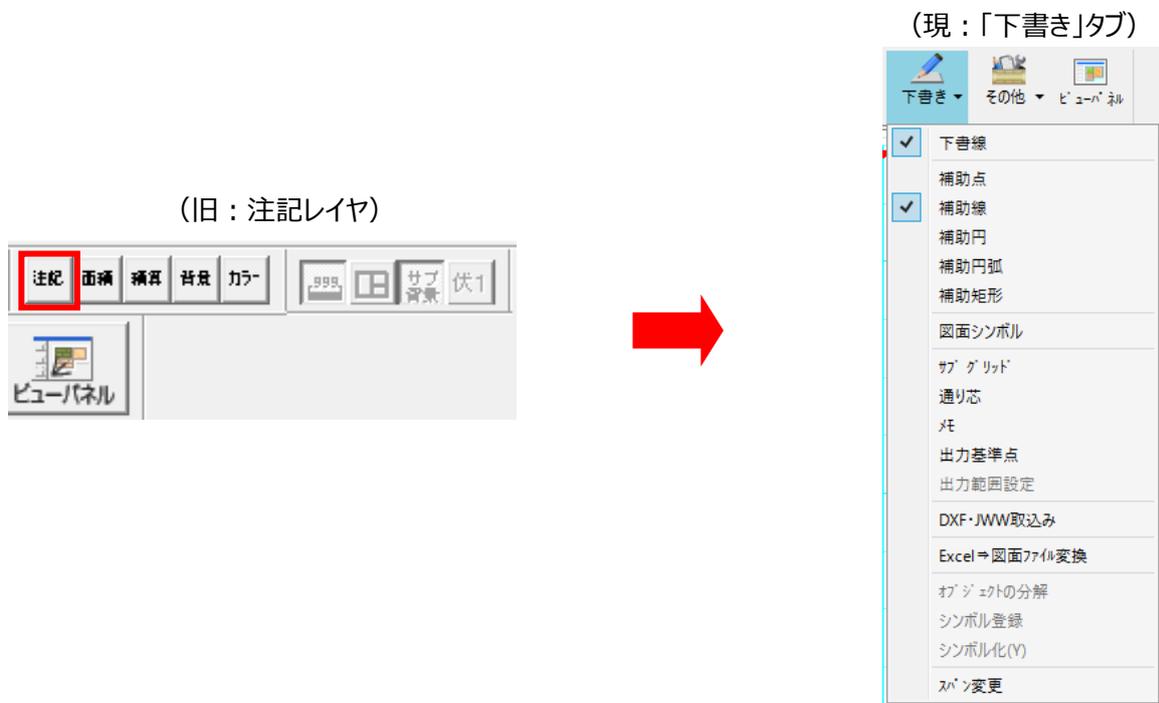
- ① 下記の「DCadFuse より物件を起動します。」ウィンドウの「はい」ボタンを押下してください。
(ウィンドウ変更有)



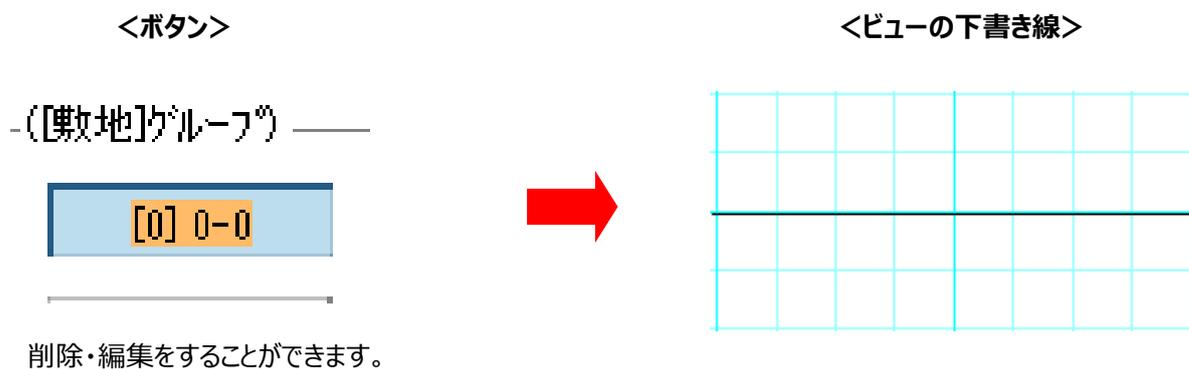
② 別アプリケーションにて、物件の伏図が出力されます。

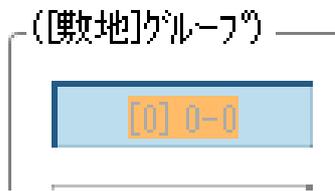
2. 図面用レイヤ制御（グループ・レイヤ）

従来の「注記レイヤ」（赤枠内）機能がなくなり、「下書き」タブに機能がまとめられました。

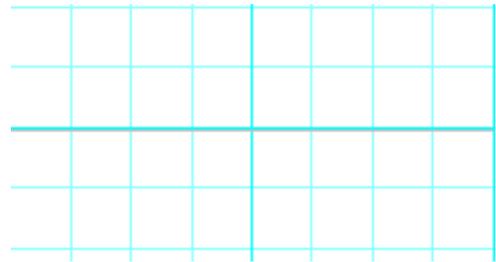


2-1. ボタンの状態と下書きの表示

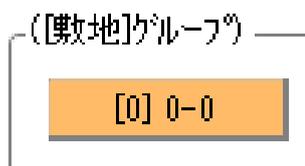




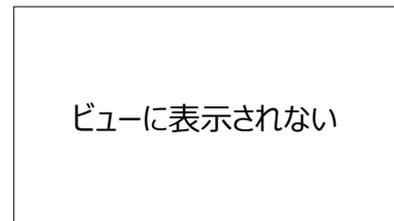
削除・編集をすることはできませんが
下書きは表示されたままです。



(薄いグレーの線が表示されています。)



下書きを隠すことができます。



2-2. グループ・レイヤの表示・非表示方法

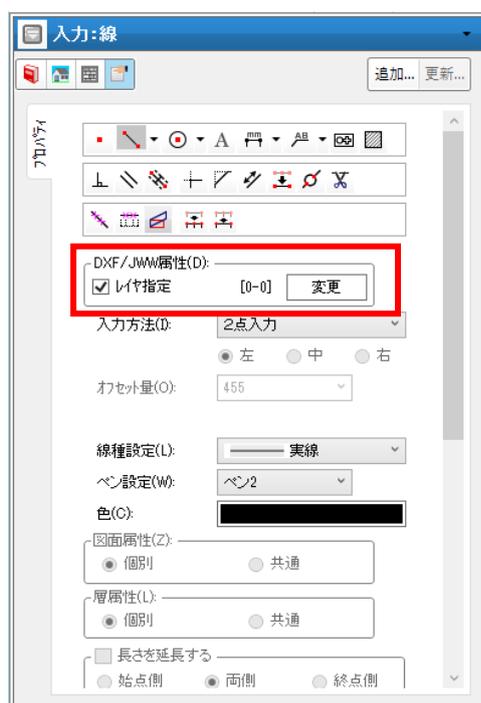
【設定フロー】

- ① 「下書き」タブ
- ② タブ内「下書き線」・「補助線」・「補助円」・「補助円弧」・「補助矩形」・「図面シボル」のいずれかを選択
- ③ 「レイヤ指定」にチェック
- ④ チェック右横の「変更」
- ⑤ レイヤを選択
- ⑥ ビューに入力
- ⑦ 「レイヤ」アイコンからダイアログ表示
- ⑧ 表示・非表示したいレイヤを選択
- ⑨ 状態が変化

【例：道路の線を入力し、表示・表示にする】

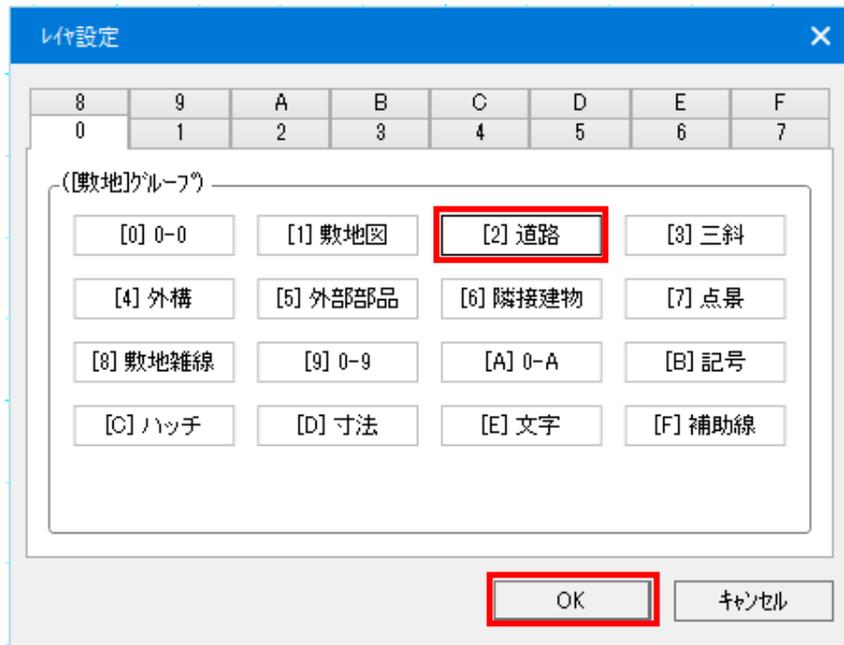


- ① 「下書き」タブを開き、「下書き線」を押下します。
(この時、「補助線」も自動的に選択されます。)
※「下書き線」を選択すると線種が実線になり、「補助線」を選択すると線種も補助線（点線）になります。



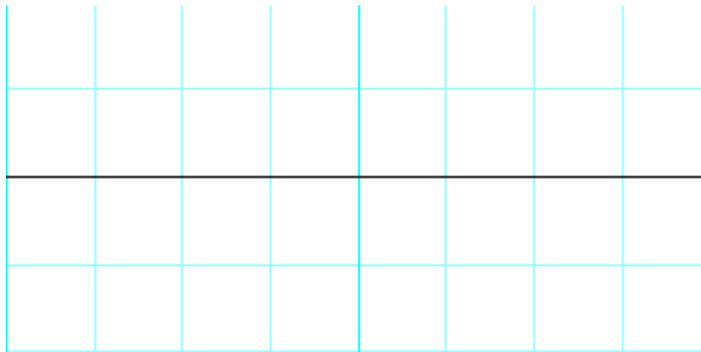
- ② 左側に「入力:線」プロパティが表示されたら、「DXF/JWW 属性」内の「レイヤ指定」にチェックをします。
- ③ チェックすると、「変更」ボタンが押せるようになるので、押下します。

- ④ 「レイ設定」ダイアログが表示されるので、道路の線を入力するために、「[2]道路」ボタンを押下します。



- ⑤ 「OK」ボタンを押下すると、「レイ設定」ダイアログが消えます。

- ⑥ ビューの表示したい位置に線を入力します。



- ⑦ ツールバーにある「レイヤ」アイコン  を押下すると、「レイヤ表示／非表示設定」ダイアログが表示されます。
- ⑧ 既にビューに入力したレイヤは橙色に塗り潰されています。⑥で入力した道路の線を表示・非表示にするには、「[2]道路」ボタンを押下します。



- ⑨ ボタンと線が3通りの状態に変化します。
- ※状態に関しては2-1の【ボタンの状態と下書き線の表示】をご確認ください。

3. 設計図書出力

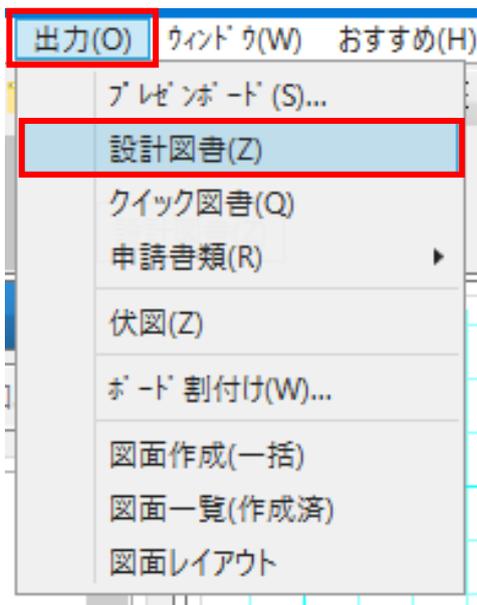
3-1. 出力方法

【出力フロー】



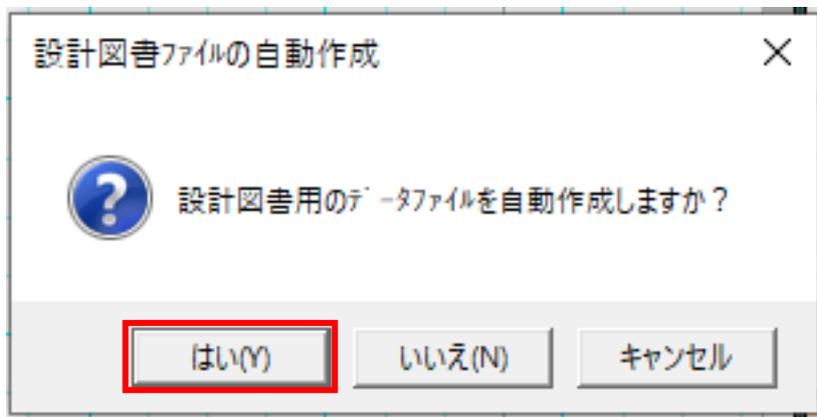
- ① 「出力」タブ
- ② タブ内「設計図書」
- ③ 表示されたウィンドウの「はい」
- ④ ダイアログ設定後、「OK」
- ⑤ 表示されたウィンドウの「はい」
- ⑥ テンプレート選択
- ⑦ 出力完了

【手順詳細】

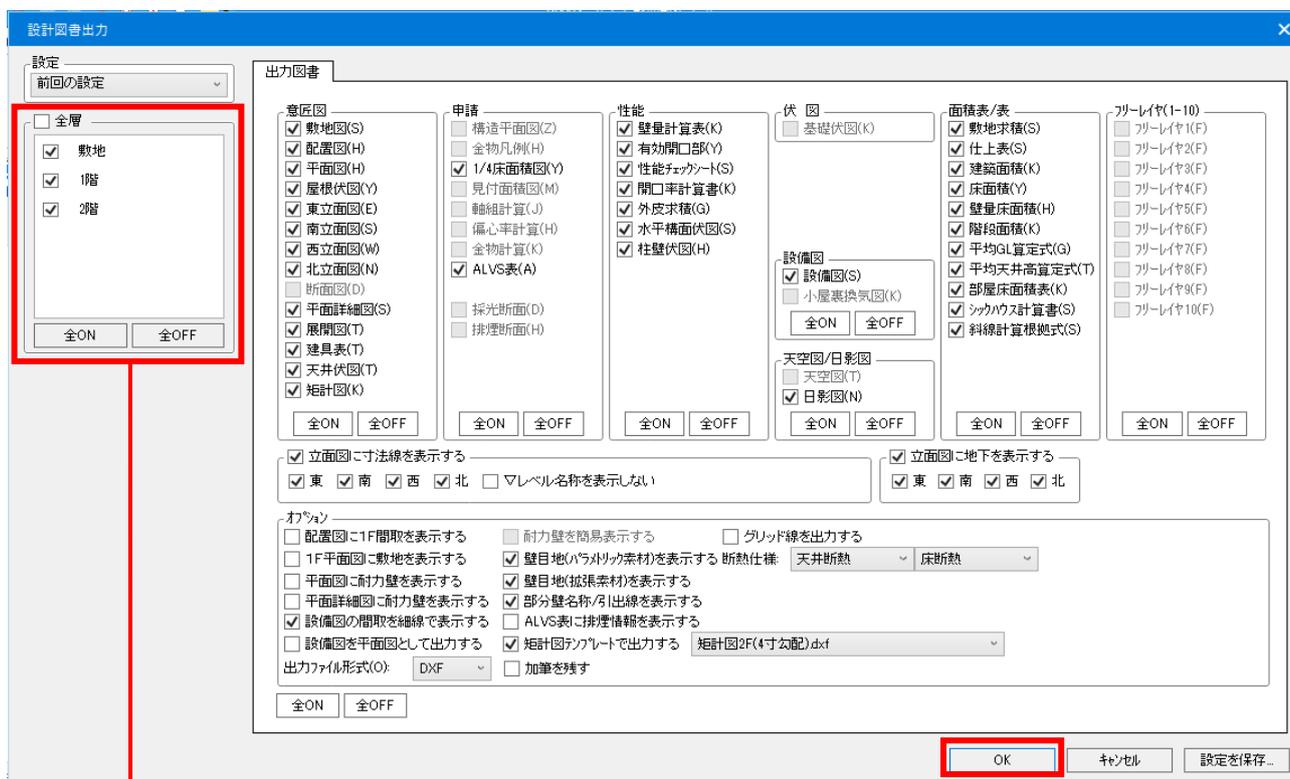


- ① 「出力」タブを開いてください。
- ② 「設計図書」を押下してください。

① 「設計図書ファイルの自動作成」ウィンドウの「はい」ボタンを押下してください。

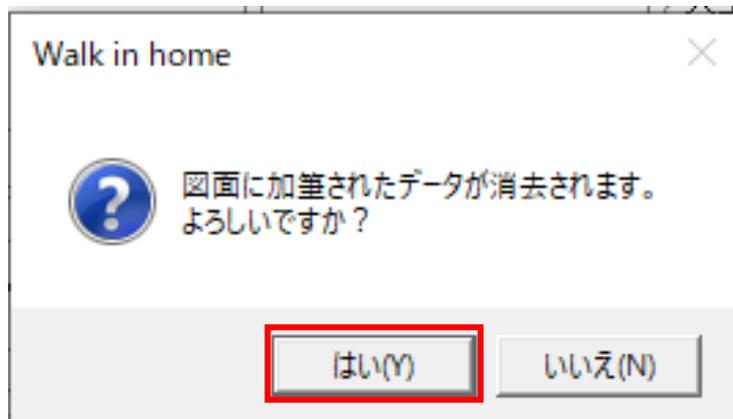


② 「設計図書出力」ダイアログが表示されますので、設定後、「OK」を押下してください。

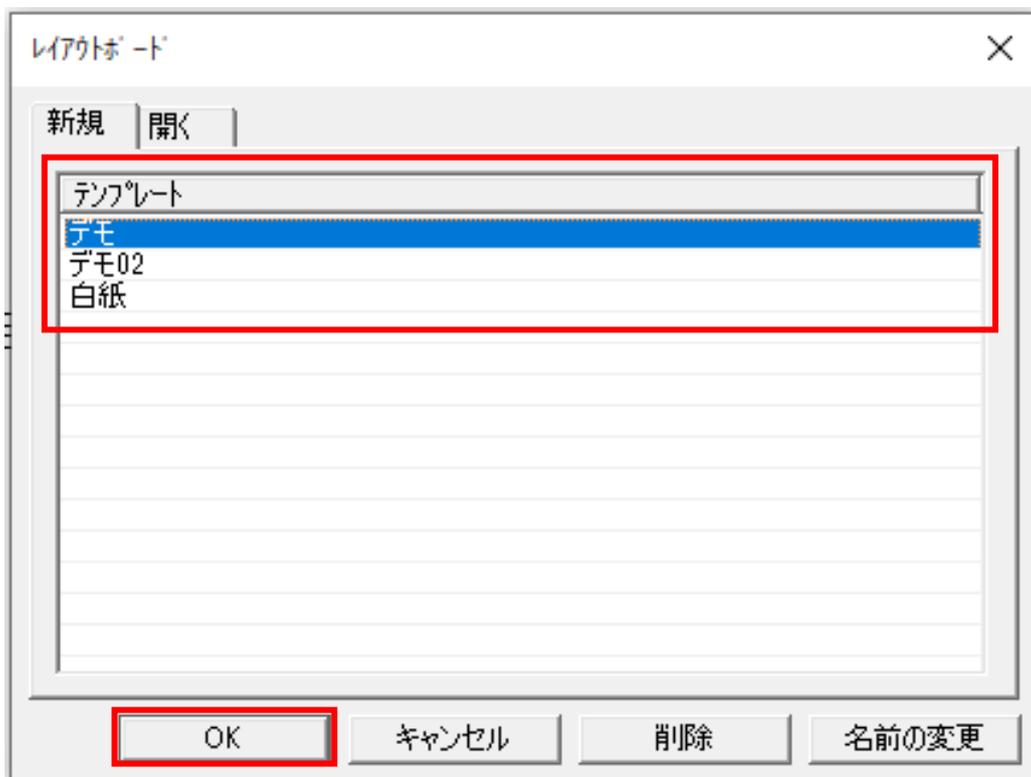


階層ごとの設定をすることができます。

- ③ ウィンドウが表示されますので、問題が無ければ「はい」ボタンを押下してください。



- ④ 「レイアウトボード」ウィンドウが表示されたら、テンプレートを選択し、「OK」ボタンを押下してください。

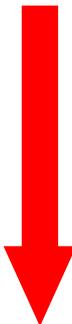


- ⑤ 別アプリケーションにて、⑥で選択したテンプレートに則った設計図書が出力されます。

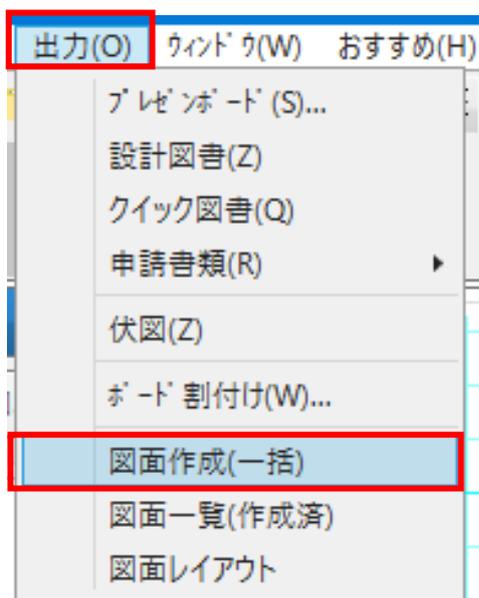
4. 図面作成機能

4-1. 図面作成（一括）機能・出力方法

【出力フロー】

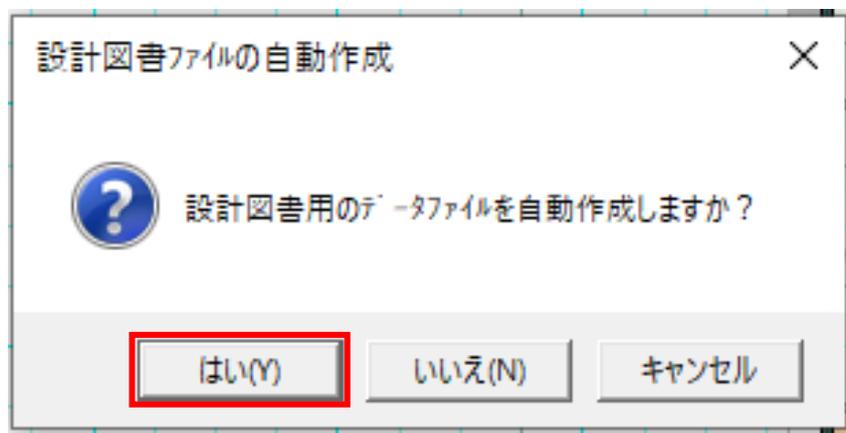
- 
- ① 「出力」タブ
 - ② タブ内「図面作成(一括)」
 - ③ 表示されたウィンドウの「はい」
 - ④ ダイアログ設定後、「OK」
 - ⑤ 表示されたウィンドウの「はい」
 - ⑥ 図面一覧表示
 - ⑦ 図面を選択し、「選択図面を開く」押下で出力完了

【手順詳細】

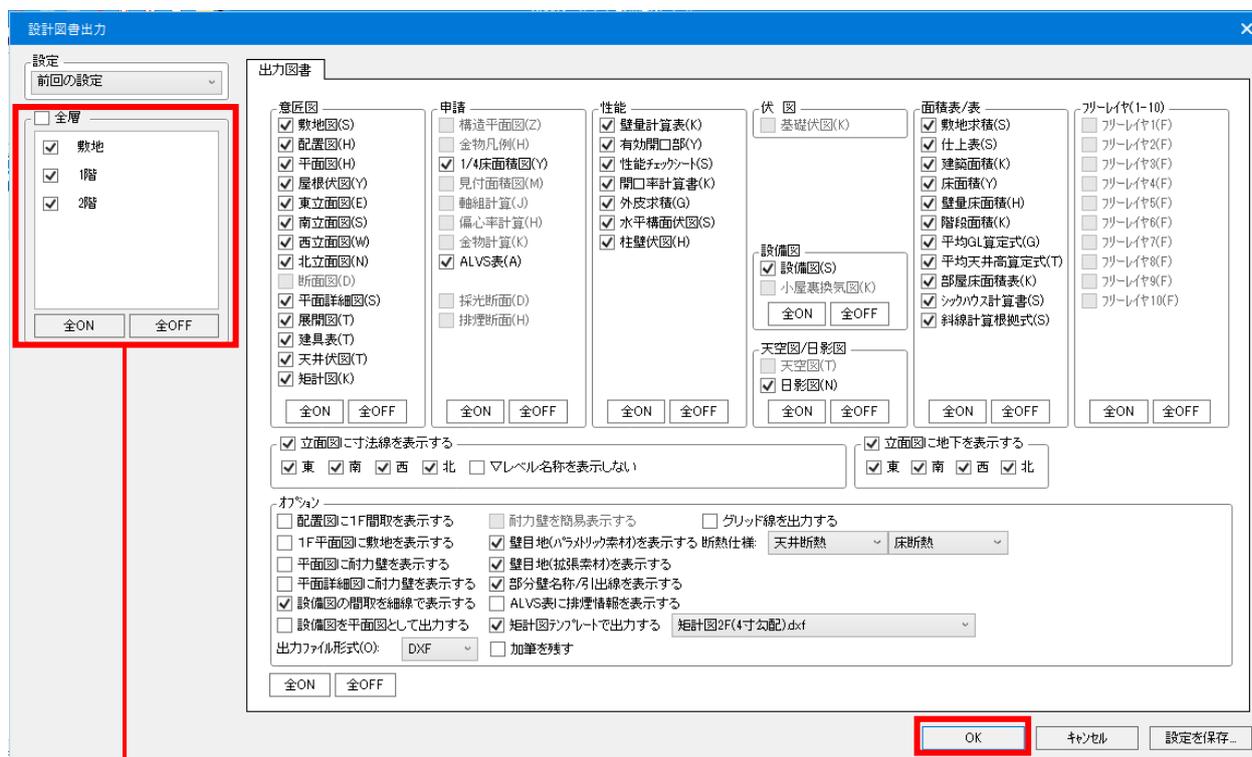


- ① 「出力」タブを開いてください。
- ② 「図面作成(一括)」を押下してください。

① 「設計図書ファイルの自動作成」ウィンドウの「はい」ボタンを押下してください。

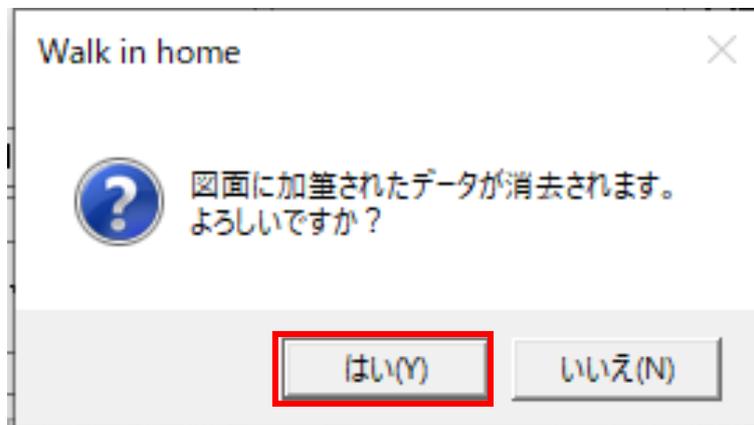


② 「設計図書出力」ダイアログが表示されますので、設定後、「OK」を押下してください。



階層ごとの設定をすることができます。

- ③ ウィンドウが表示されますので、問題が無ければ「はい」ボタンを押下してください。



- ④ 作成した図面の一覧が表示されます。

図面一覧(作成済)

プラン変更日時 2019/09/06 04:21:31

No	グループ	図面タイプ	図面名称	作成・更新日時
1	意匠図	配置図	配置図	2019/09/06 04:21
2	意匠図	平面図	1階平面図	2019/09/06 04:21
3	意匠図	平面図	2階平面図	2019/09/06 04:21
4	意匠図	平面詳細図	1階平面詳細図	2019/09/06 04:21
5	意匠図	平面詳細図	2階平面詳細図	2019/09/06 04:21
6	設備図	給排水/ガス	1階給排水/ガス設備図	2019/09/06 04:21
7	設備図	給排水/ガス	2階給排水/ガス設備図	2019/09/06 04:21
8	設備図	電気	1階電気設備図	2019/09/06 04:21
9	設備図	電気	2階電気設備図	2019/09/06 04:21
10	設備図	換気	1階換気設備図	2019/09/06 04:21
11	設備図	換気	2階換気設備図	2019/09/06 04:21
12	意匠図	天井伏図	1階天井伏図	2019/09/06 04:21
13	意匠図	天井伏図	2階天井伏図	2019/09/06 04:21
14	意匠図	東立面図	東側立面図	2019/09/06 04:21
15	意匠図	南立面図	南側立面図	2019/09/06 04:21

プレビュー

選択図面を開く 閉じる

「プラン変更日時」と「作成・更新日時」を比較することで、データの差異を確認することができます。

- ⑤ 出力したい図面を選択し、「選択図面を開く」ボタンを押下すると、出力されます。

4-2. 図面一覧（作成済）機能

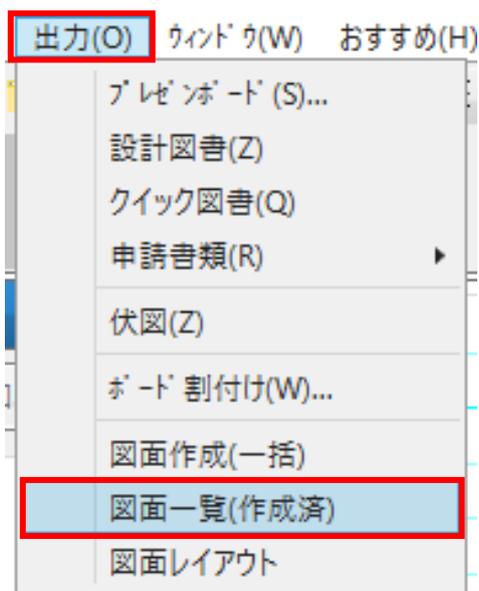
作成した図面を開き、編集を加えることができます。

4-2-1. 出力方法

【出力フロー】

- 
- ①「出力」タブ
 - ②タブ内「図面一覧(作成済)」
 - ③図面一覧表示
 - ④図面を選択し、「選択図面を開く」押下で出力完了

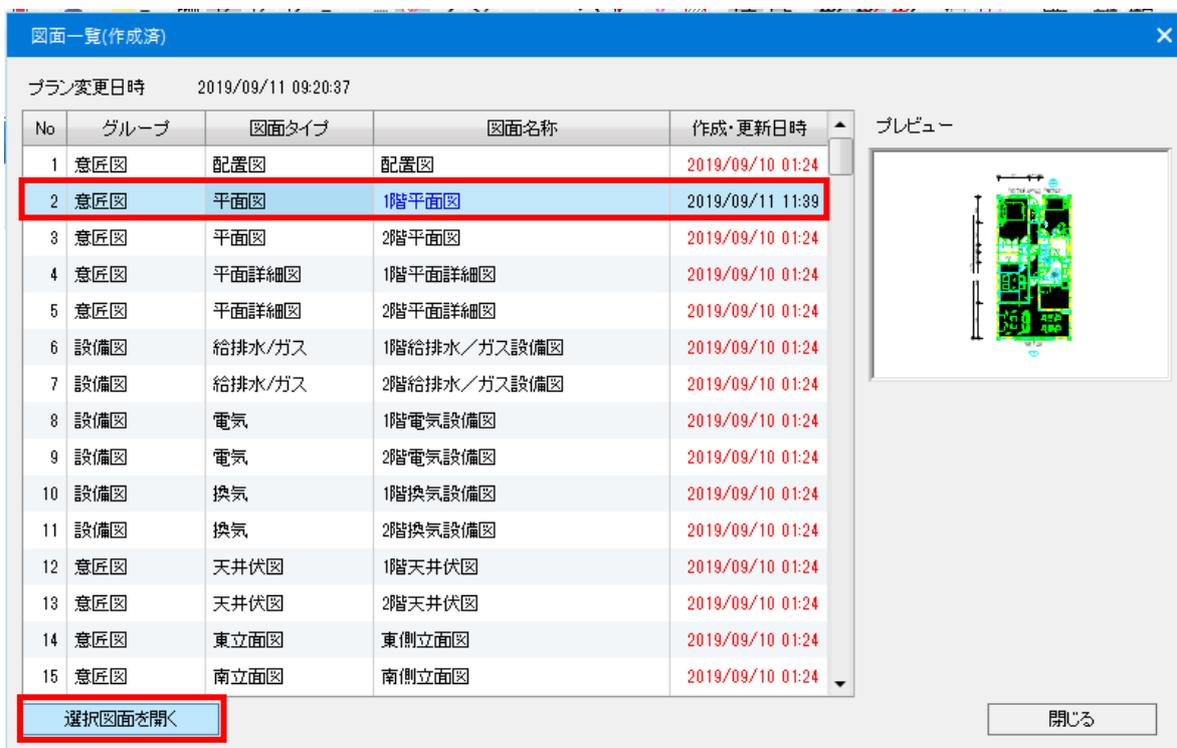
【手順詳細】



- ①ツールバーにある「出力」タブを開いてください。
- ②「図面一覧(作成済)」を押下してください。

③作成した図面の一覧が表示されます。

④出力したい図面を選択し、「選択図面を開く」ボタンを押下すると、出力されます。



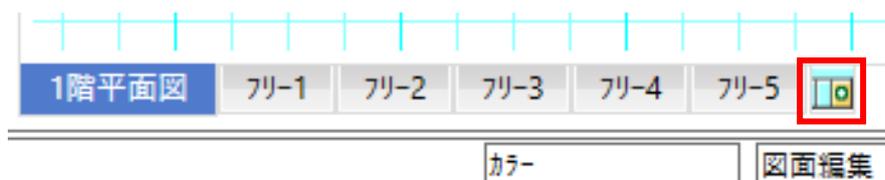
4-2-2. タブに図面を追加

図面編集画面のビューの下側にあるタブに、編集したい図面を追加することができます。

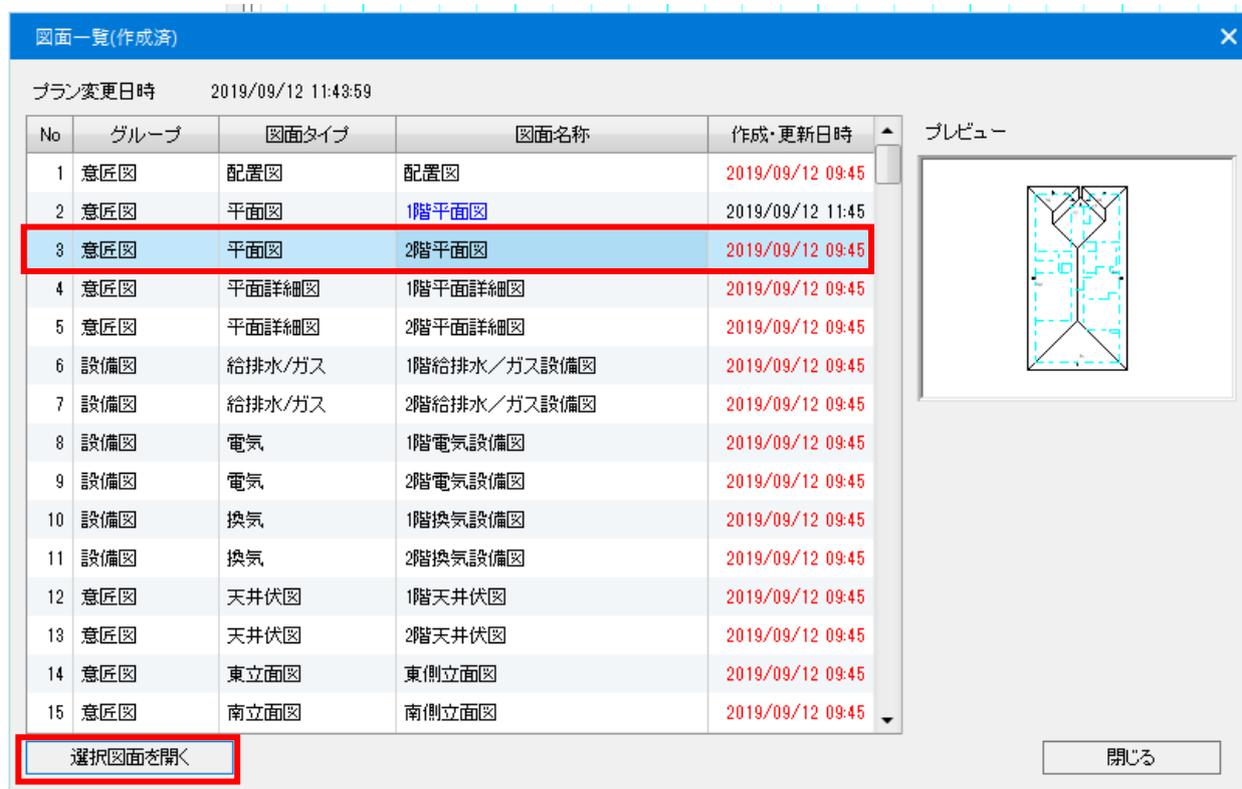
【追加方法】

① 図面編集画面を開いてください。

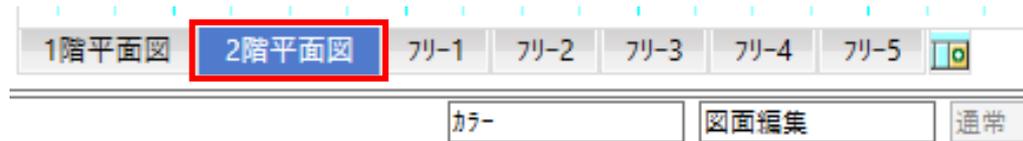
② ビューの下側にある以下のタブの赤枠内のアイコンを押下してください。



③ 作成した図面の一覧が表示されます。

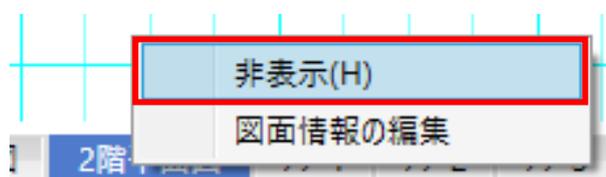


④ タブに追加したい図面を選択し、「選択図面を開く」ボタンを押下すると、選択した図面がビューに現れ、図面名称がタブに追加されます。



【非表示方法】

- ① 非表示にしたい図面のタブの上でマウスの右ボタンを押下してください。
- ② 「非表示」を押下すると、タブが削除されます。



4-3. 図面レイアウト機能

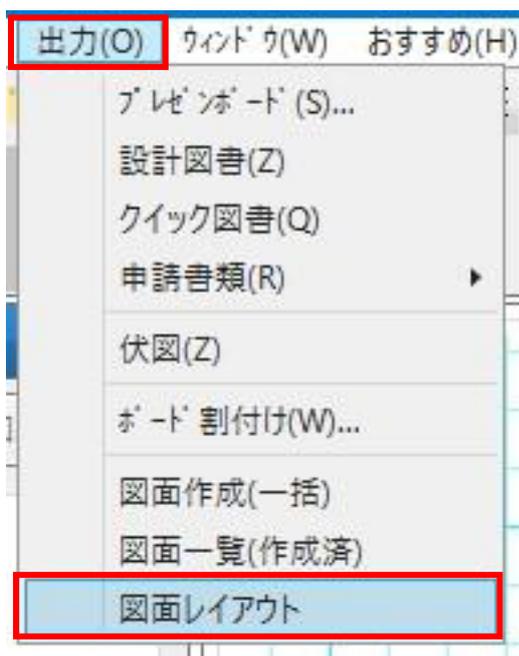
別アプリケーションであるレイアウトボードに遷移し、設計図書の配置や加筆をすることができます。

4-3-1. 出力方法・使用例

【出力フロー】

- 
- ① 「出力」タブ
 - ② タブ内「図面レイアウト」
 - ③ テンプレート選択
 - ④ 別アプリケーションで「レイアウトボード」が起動

【手順詳細】



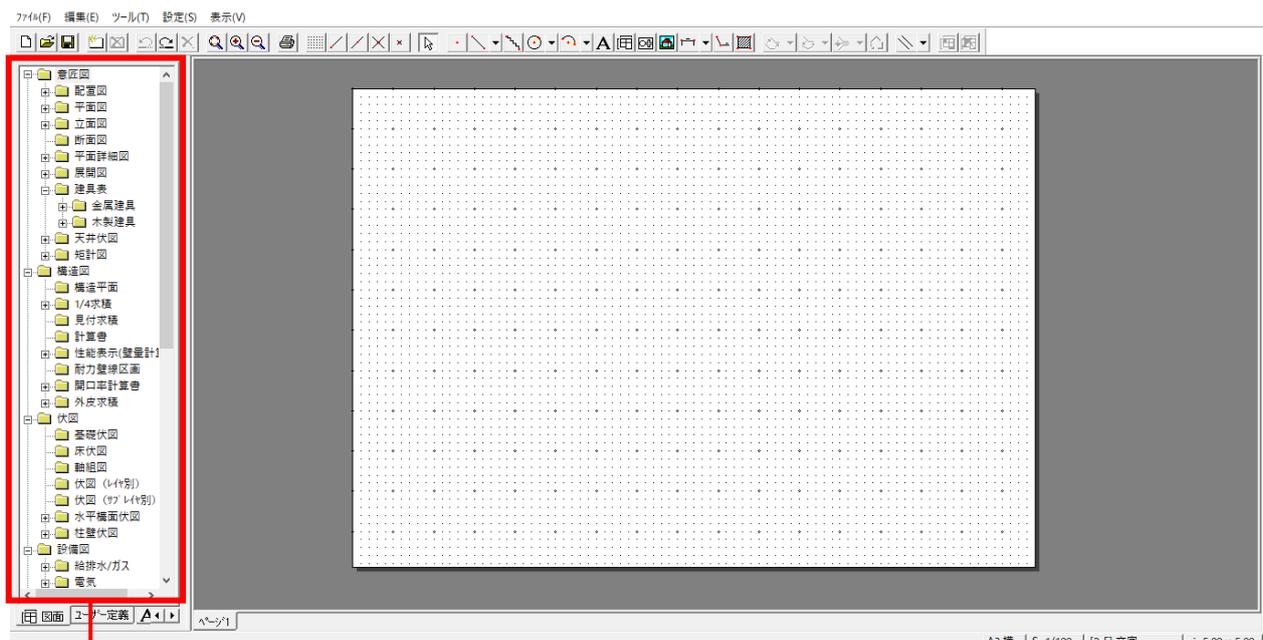
① ツールバーにある「出力」タブを開いてください。

② 「図面レイアウト」を押下してください。

③ 「レイアウトボード」ウィンドウが表示されたら、テンプレートを選択し、「OK」ボタンを押下してください。



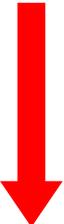
④ ③で選択したテンプレートに則ったレイアウトボードが起動します。



作成した設計図書をレイアウトボードに貼り付けることができます。

4-3-2. Walk in home18 の注記レイヤのコンバート

【設定フロー】

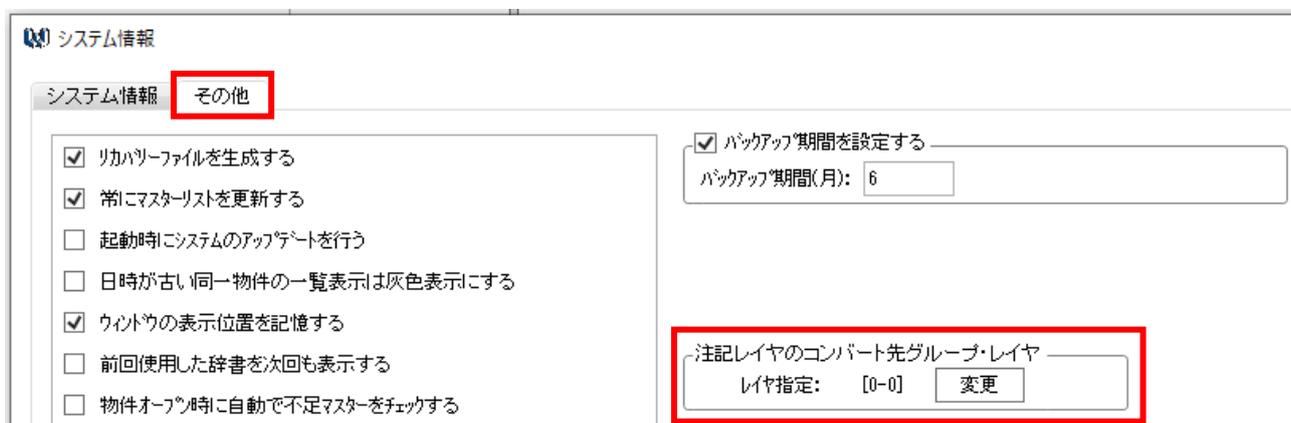
- 
- ① 「物件管理」画面の「設定・管理」タブ
 - ② タブ内「システム情報」
 - ③ 「システム情報」ウィンドウの「その他」タブ
 - ④ 「注記レイヤのコンバート先グループ・レイヤ」の「変更」
 - ⑤ 表示されたウィンドウからレイヤを指定

【手順詳細】

- ① 「物件管理」画面のツールバーにある「設定・管理」タブを開いてください。
- ② 「システム情報」を押下してください。



- ③ 「システム情報」の設定ウィンドウが表示されたら、「その他」タブを開いてください。
- ④ 「注記レイヤのコンバート先グループ・レイヤ」の「変更」ボタンを押下してください。



⑤ 「レイヤ設定」ダイアログが表示されるので、レイヤを指定し、「OK」ボタンを押下してください。



5. 図面拡張機能

5-1. 拡張ポップアップ

点	寸法線	寸法結 合	寸法分 断
線	伸縮	オフセ ット	文字
文字移 動	引出線	ハッチ 領域	厚み線 分
厚み領 域	壁	部分壁	カン ター
間仕切 移動	選要素 入力	前へ	次へ

ビューにてマウスの右ボタンを長押しすると、左記の拡張ポップアップが表示されます。

以下、拡張ポップアップの表示設定方法と、表示する項目数などのカスタマイズ方法を記載します。

5-1-1. 表示設定方法

【設定フロー】

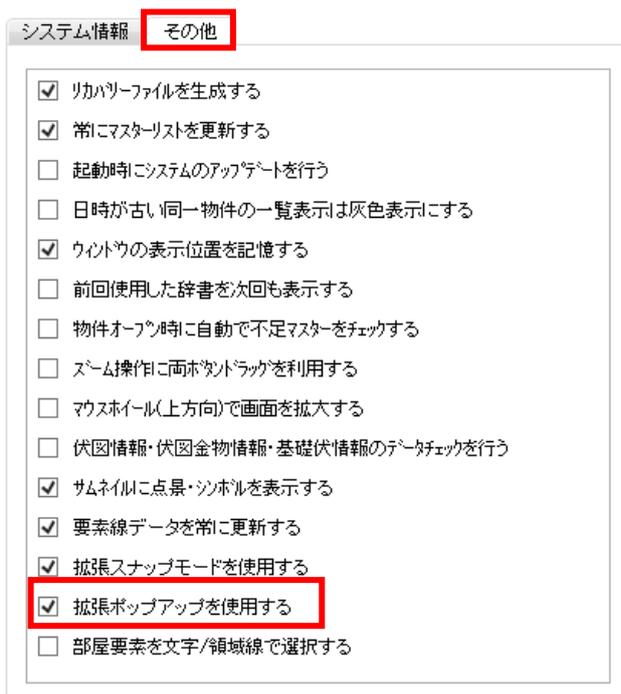
- 
- ① 「物件管理」画面の「設定・管理」タブ
 - ② タブ内「システム情報」
 - ③ 「システム情報」ウィンドウの「その他」タブ
 - ④ 「拡張ポップアップを使用する」にチェック
 - ⑤ 「OK」押下で設定完了

【手順詳細】

- ① 「物件管理」画面のツールバーにある「設定・管理」タブを開いてください。
- ② 「システム情報」を押下してください。



システム情報



- ③ 「システム情報」の設定ウィンドウが表示されたら、「その他」タブを開いてください。
- ④ 「その他」タブ内の「拡張ポップアップを使用する」にチェックを入れてください。
- ⑤ 「システム情報」の設定ウィンドウの右下にある「OK」ボタン押下で、設定完了です。

5-1-2. カスタマイズ方法

【設定フロー】

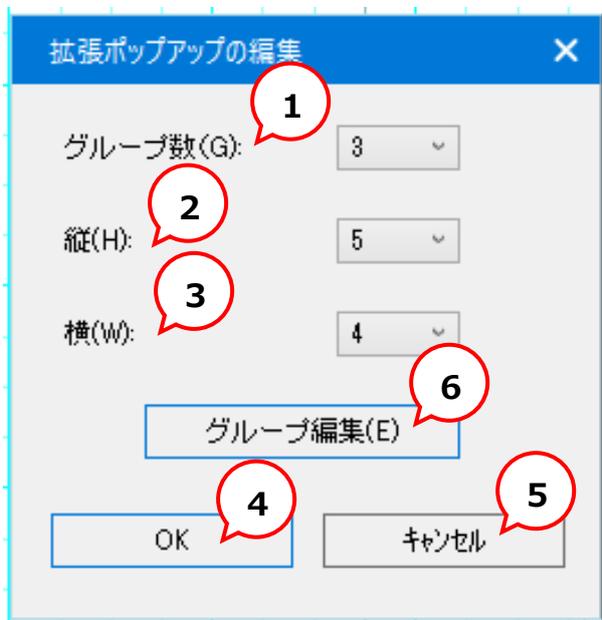
- 
- ① 「設定」タブ
 - ② タブ内「拡張ポップアップの編集」
 - ③ 表示されたダイアログから編集
 - ④ 「OK」押下で設定完了

【手順詳細】



- ① 「設定」タブを開いてください。
- ② 「拡張ポップアップの編集」を押下してください。

③ 「拡張ポップアップの編集」ウィンドウが表示されますので、従って編集してください。



【各項目・ボタン説明】

1. グループ数

拡張ポップアップのグループ（ページ）の数です。
1～3で指定できます。
グループについては「グループ編集(E)」ボタンから変更できます。

2. 縦

拡張ポップアップの縦の項目数です。
1～6を指定できます。

3. 横

拡張ポップアップの横の項目数です。
1～6を指定できます。

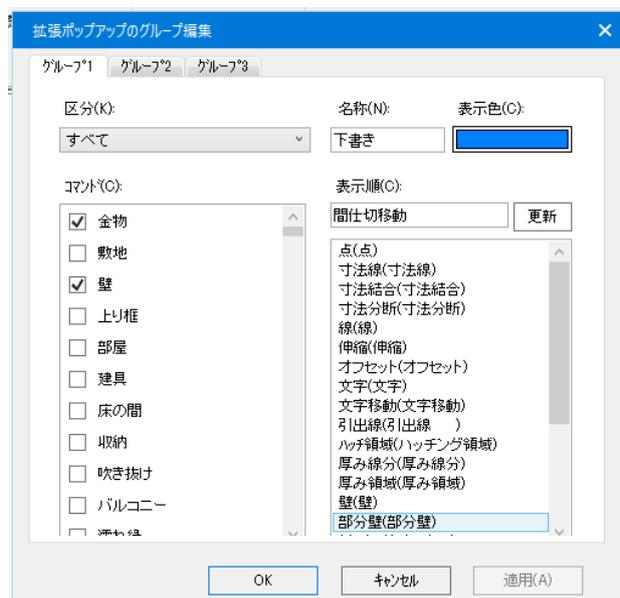
4. 「OK」ボタン

変更内容を保存し、拡張ポップアップに適用します。

5. 「キャンセル」ボタン

変更内容を保存せずに、ウィンドウを閉じます。

6. 「グループ編集」ボタン



押下すると、左記のダイアログが表示されます。

※「カスタムバー編集」と同じ操作方法です。

5-2. 図面編集用の入力ツールバー **(注意：アイコン下文字見切れ有)**



図面編集画面を開いた際、入力用のツールバーが表示されます。

こちらのツールバーから、図面への下書き加筆や、ファイルの取り込み・変換をすることができます。

5-3. 背景色の選択・グリッド線表示

5-3-1. 背景色の選択方法

図面編集画面とレイアウトボードのビューの背景色「初期設定」「黒」「白」の3種類から選択することができます。

※グリッド線を非表示にしている場合のみ適用されます。

<図面編集画面の場合>

【設定フロー】

- ① 「選択」タブ→「図面編集」
- ② 図面編集画面に遷移
- ③ セレクトボックスから選択後、適用

【手順詳細】



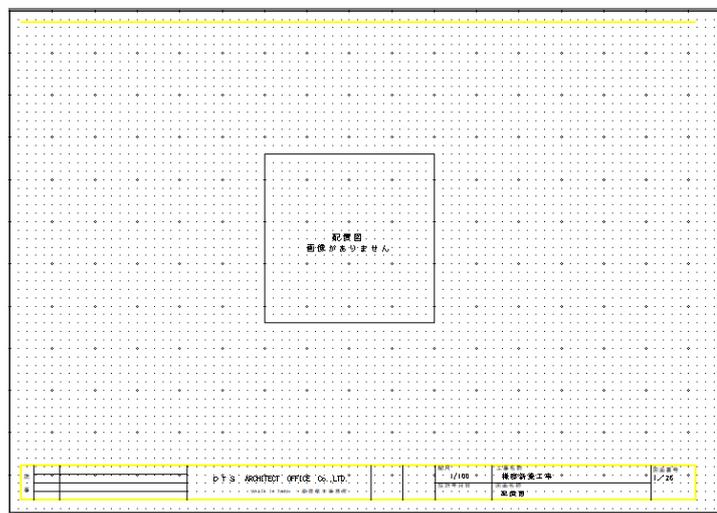
- ① 「選択」タブを開き、「図面編集」を押下してください。

- ② 図面編集画面に遷移します。
- ③ ツールバーの「グリッド」右横のセレクトボックスから「初期設定」「黒」「白」のいずれかを選択すると適用されます。
(注意：アイコン文字見切れ)

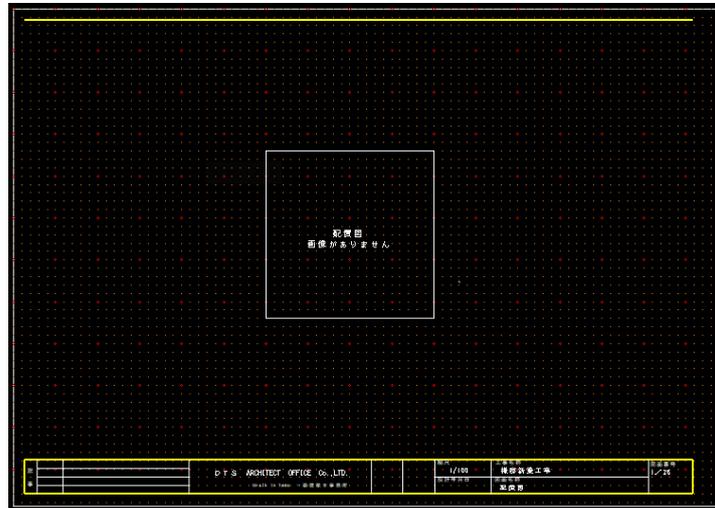


<レイアウトボードの場合>

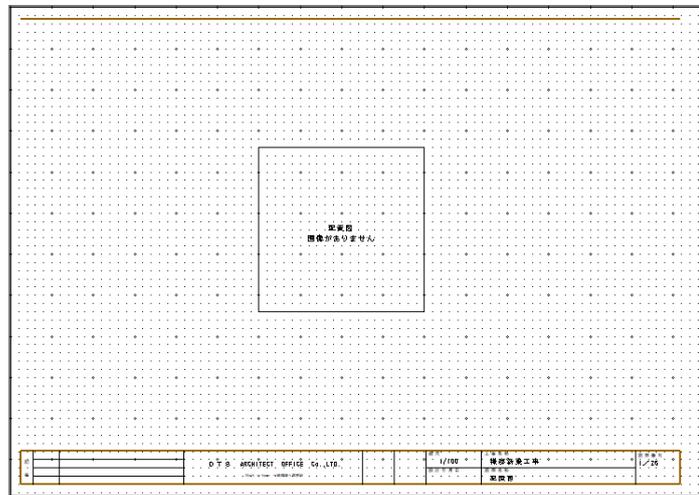
「初期設定」



「黒」



「白」



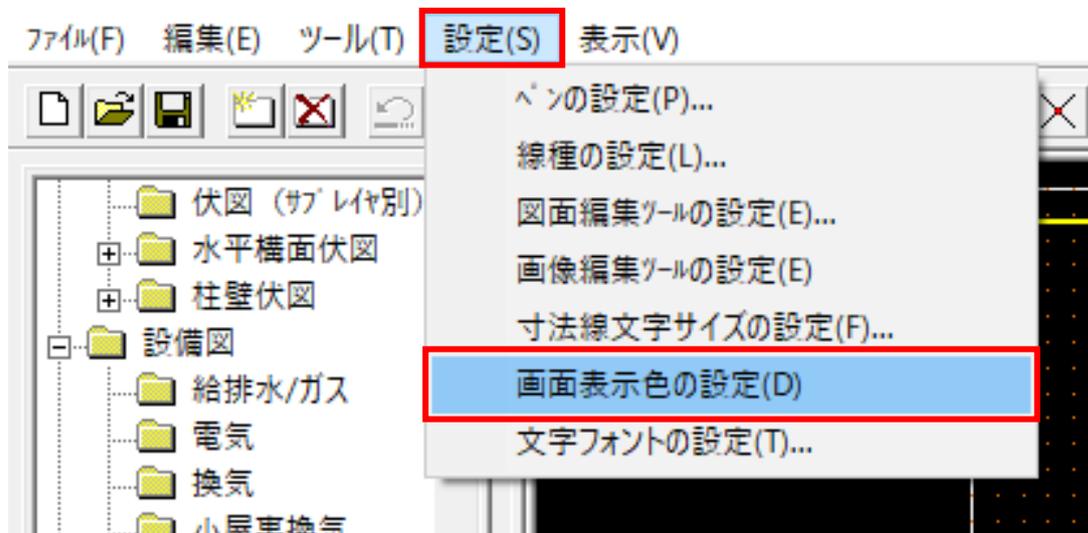
【設定フロー】



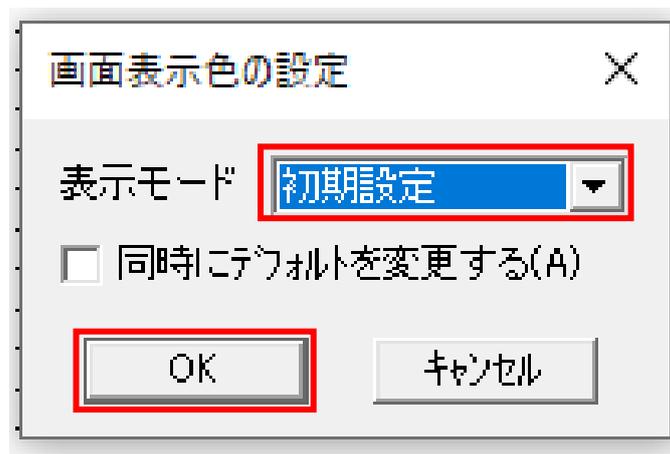
- ① 図面編集画面「設定」タブ
- ② 「画面表示職の設定」
- ③ 表示されたウィンドウから選択
- ④ 「OK」で適用

【手順詳細】

- ① 図面編集画面の「設定」タブを開いてください。
- ② 「設定」タブ内の「画面表示色の設定」を押下してください。



- ③ 「画面表示色の設定」ダイアログが表示されますので、「表示モード」をドロップダウンし、3色から選択してください。



- ④最後に、「OK」ボタンを押下すると、適用されます。

5-3-2. グリッド線表示・非表示方法

図面編集画面のビューのグリッド線（マス目）の表示有無を切り替えることができます。

【設定フロー】

- 
- ① 「選択」タブ→「図面編集」
 - ② 図面編集画面に遷移
 - ③ 「グリッド」で変更

【手順詳細】



①「選択」タブを開き、「図面編集」を押下してください。



②図面編集画面に遷移します。

③「グリッド」ボタンを押下すると、グリッド線の表示・非表示を変更することができます。

5-4. 図面作成 (部分) 機能

【作成フロー】

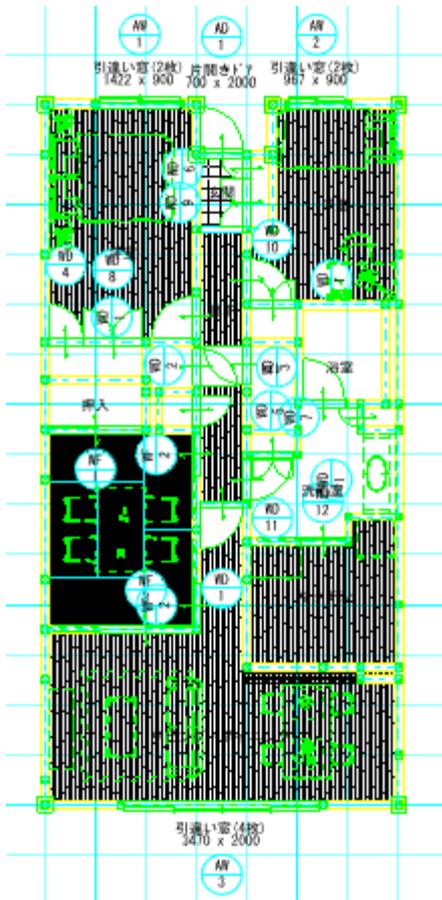


- ① CAD に下書きを加筆後、図面一覧から加筆した部分がある図面を開く
※加筆後に図面の一括作成でも可
- ② 「図面編集」タブ
- ③ 「図面作成(部分)」押下
- ④ 指定する領域をドラッグ & ドロップ
- ⑤ 表示されたウィンドウの「OK」
- ⑥ 作成完了

【例：1 階の間取りに加筆した下書きを 1 階平面図に反映させる】

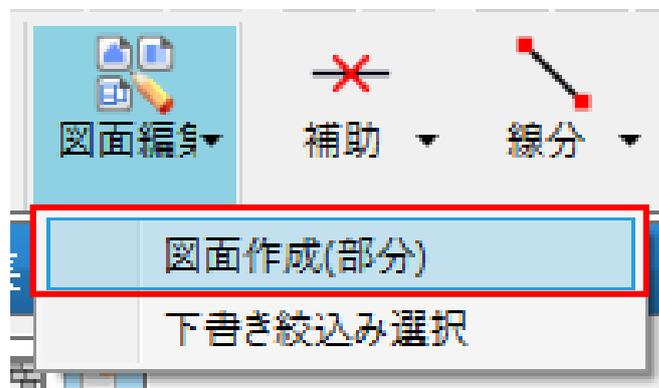


- ① 1 階の間取りに、赤枠内の下書きを加筆しました。
※寸法線も下書きとして扱われています。

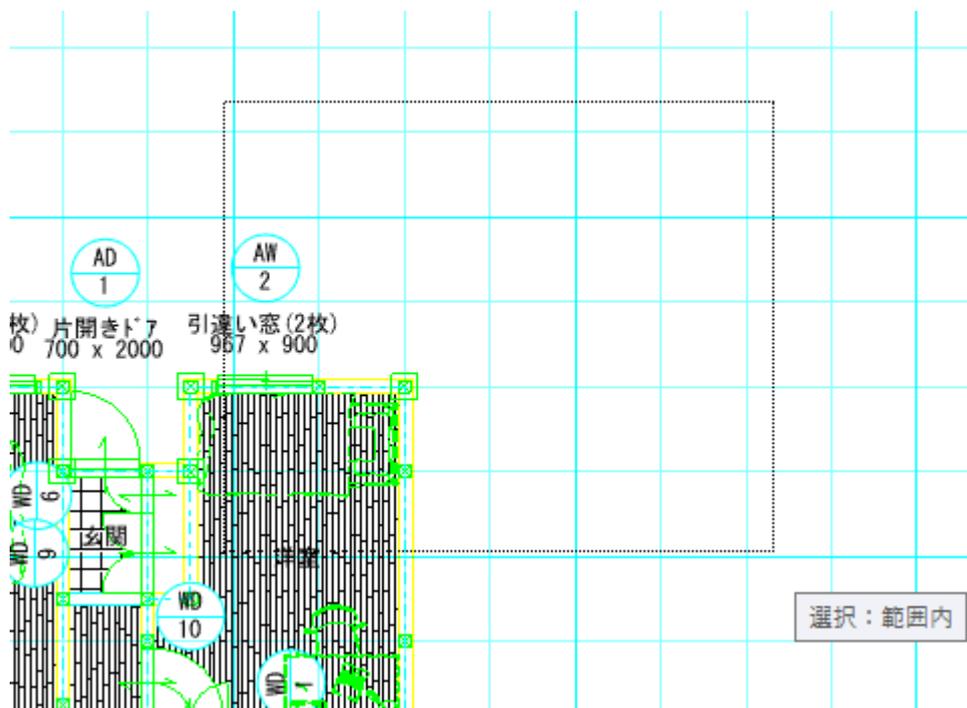


- ② 加筆した1階の間取りの図面（1階平面図）を開きます。
 ※加筆後に図面の一括作成でも可
 左記のように、まだ下書きは反映されていません。

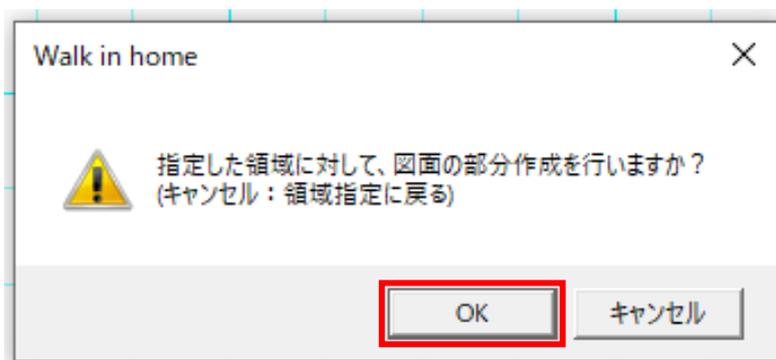
- ③ 図面に下書きを反映させるために、「図面編集」タブを開き、「図面作成(部分)」を押下します。

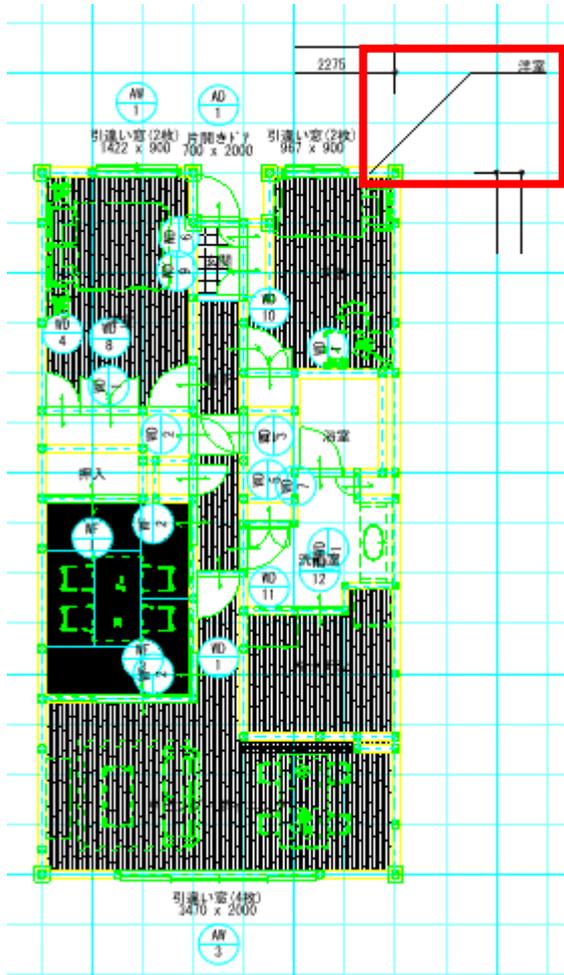


- ④ 加筆した下書きの範囲をドラッグで指定します。



- ⑤ ドロップすると、ウィンドウが表示されるので、「OK」ボタンを押下します。





- ⑥ しばらくすると、1階平面図に、①で加筆した下書きが反映されます。

6. 下書き編集機能

6-1. 機能一覧

追加した機能は「線分伸縮」「延長止線」「連続延長」「線分間カット」「円弧削除」「クリップ」「文字クリップ」になります。

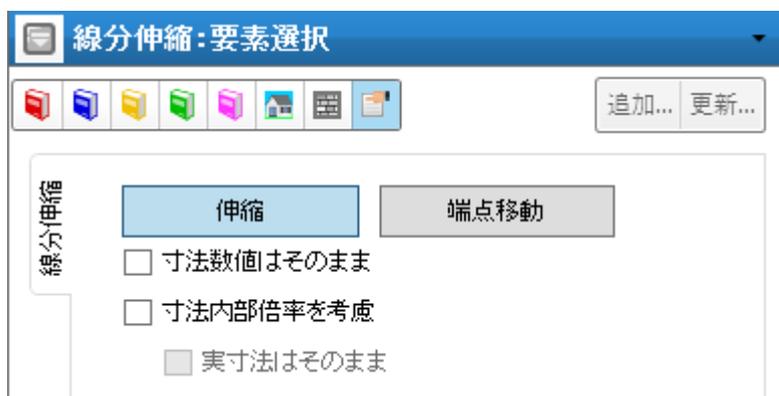
下書き線要素が編集の対象になります。

下書き編集アイコンを押し、機能を選択します。

※機能をカスタムバーや拡張ポップアップに設定することもできます。



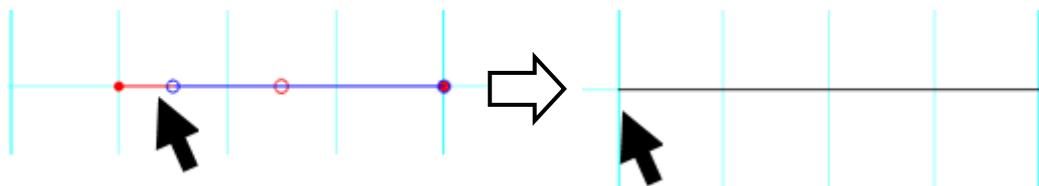
6-2. 線分伸縮



1) 伸縮

対象要素：線分、弧、連続線、寸法線

伸縮したい要素の端部付近をクリックし、次に端点の移動先をクリックします。



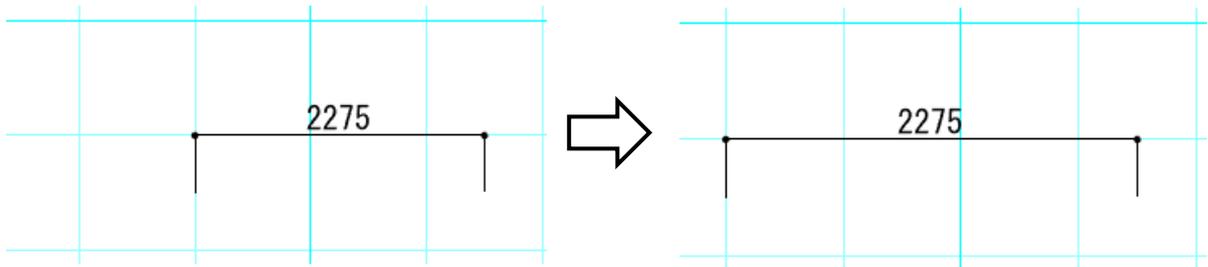
「寸法数値はそのまま」チェックボックス

対象要素：寸法線

ON にすると、伸縮前の寸法値のまま変わりません。

伸縮前

伸縮後

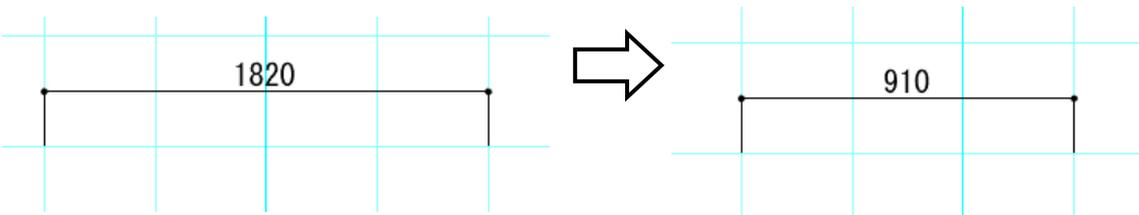


「寸法内部倍率を考慮」チェックボックス

対象要素：寸法線

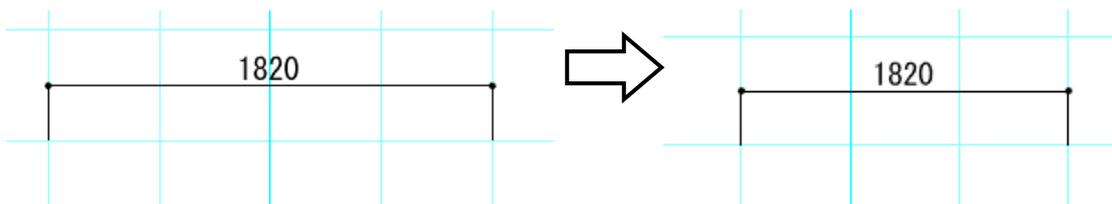
ON にすると、表示されている寸法値に伸縮した分の距離を加減算した値が表示されます。

例) $1P=910\text{mm}$ の時 (表示されている寸法値 1820) - (伸縮した距離 910) = 910



「実寸法はそのまま」チェックボックス

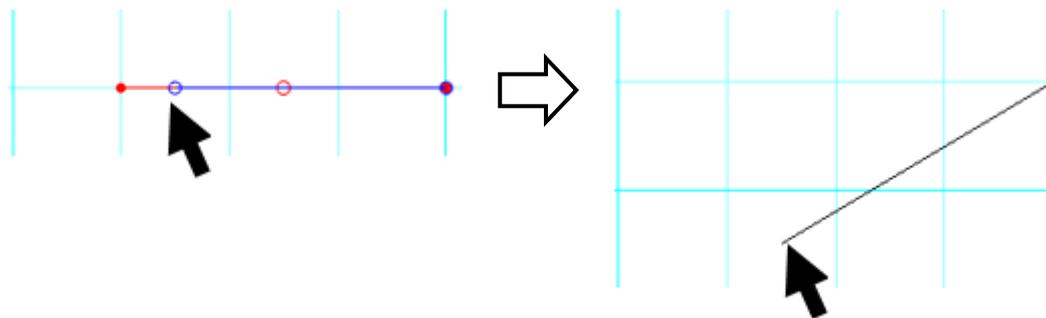
ON にすると、伸縮前の寸法値のまま伸縮されます。



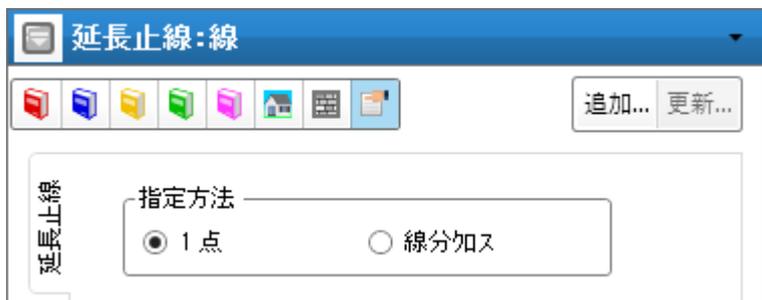
2) 端点移動

対象要素：線分、連続線

移動したい要素の端部付近をクリックし、端点の移動先をクリックします。



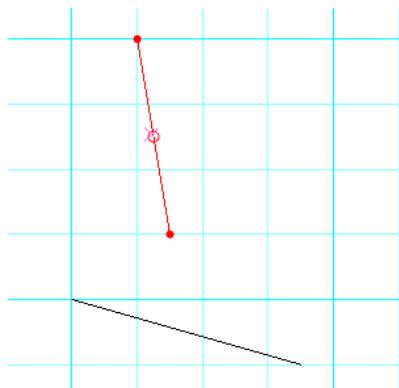
6-3. 延長止線



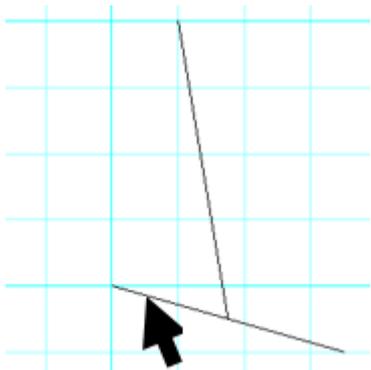
対象要素：線分、弧、円（円は基準要素のみ）

1) 指定方法：1点

伸縮したい要素を選択します。

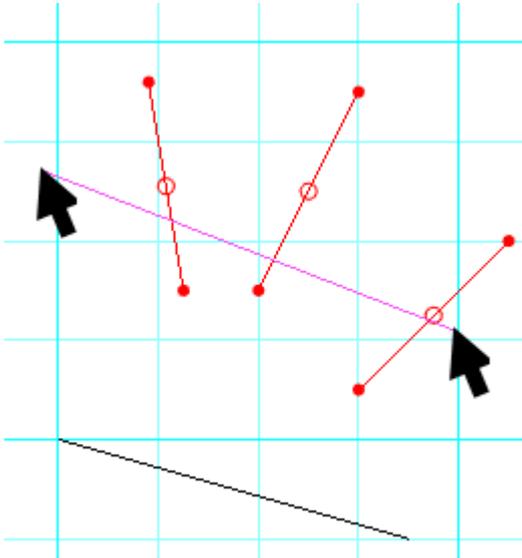


基準となる要素をクリックすると、その要素まで伸縮します。

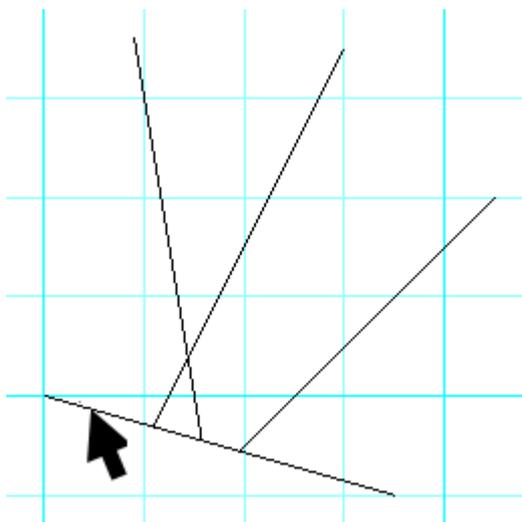


2) 指定方法：線分クロス

伸縮したい複数の要素に交わるようにクロス線を2点入力します。

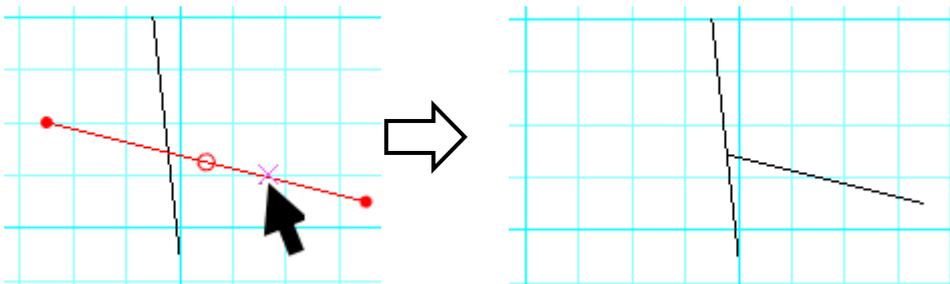


基準となる要素をクリックすると、その要素まで伸縮します。

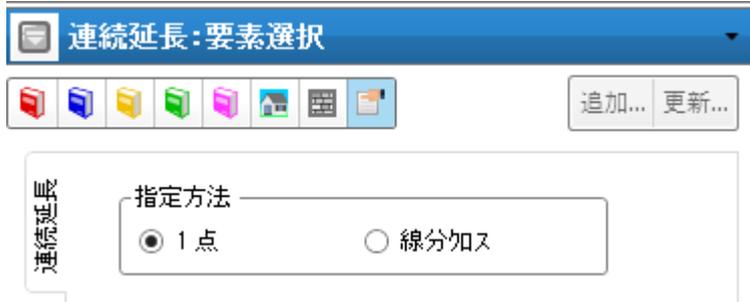


3) 補足

伸縮したい要素が基準となる要素と交わっている時、伸縮したい要素を選択時にクリックした側が残ります。



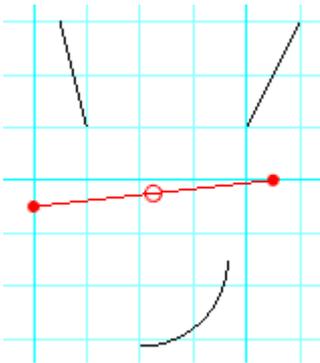
6-4. 連続延長



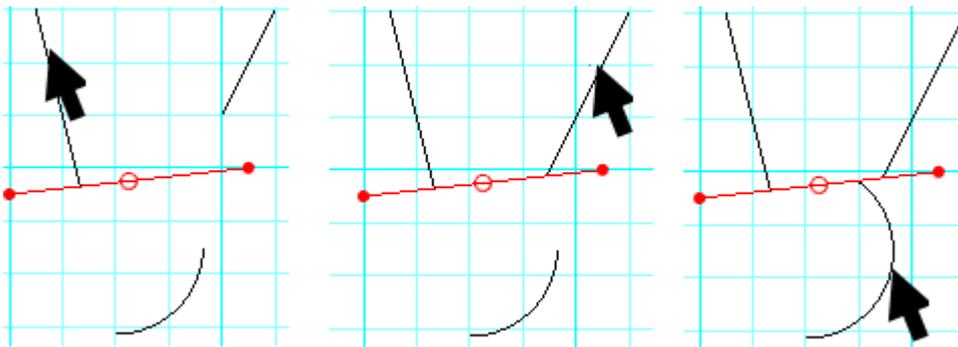
対象要素：線分、弧、円（円は基準要素のみ）

1) 指定方法：1点

基準となる要素を選択します。

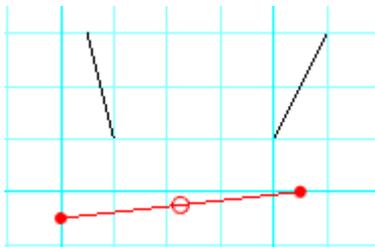


伸縮したい複数の要素をクリックすると、基準となる要素まで順に伸縮します。

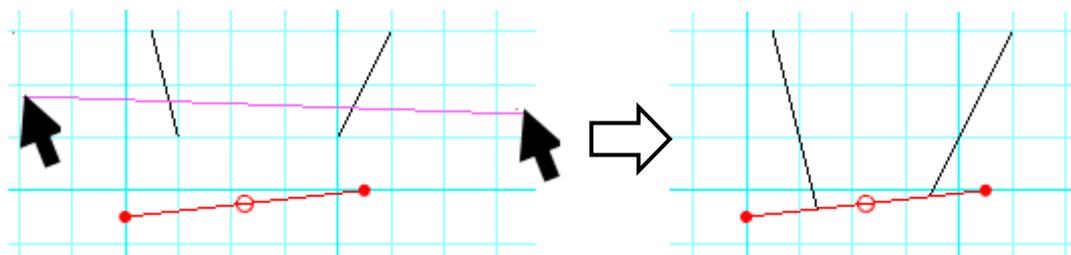


2) 指定方法：線分クロス

基準となる要素を選択します。

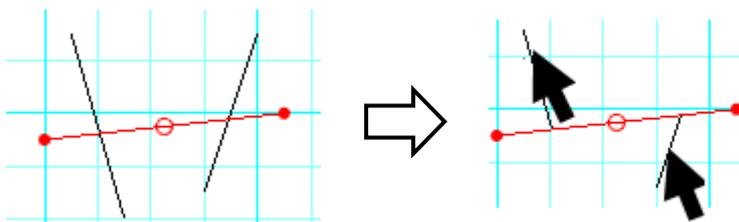


伸縮したい複数の要素に交わるようにクロス線を2点入力します。

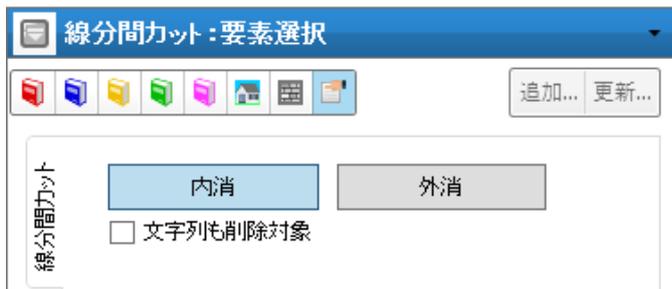


3) 補足

伸縮したい要素が基準となる要素と交わっている時、伸縮したい要素を選択時にクリックした側が残ります。



6-5. 線分間カット



1) 内消

線分間の領域に完全に含まれる対象要素を削除します。

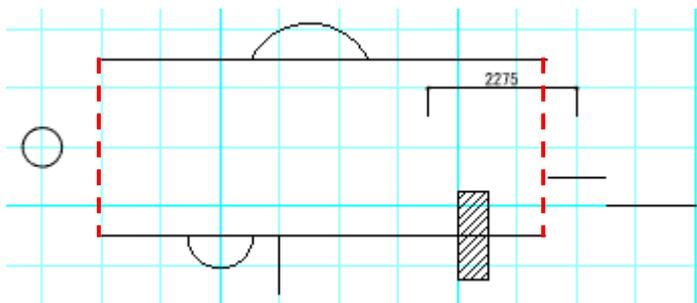
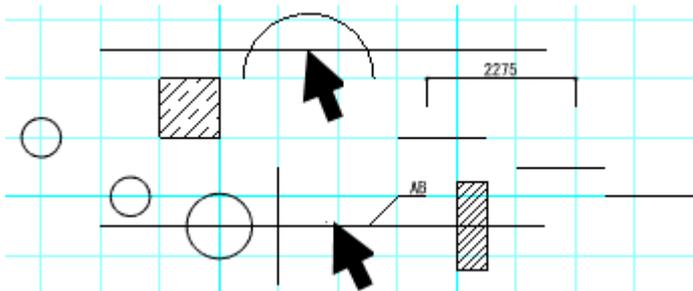
削除対象要素：点、線、連続線、矩形、円、弧、文字、寸法線、半径寸法線、角度寸法線、引出線、ハンチ引出線、ハッチング

カット線分にまたがっている対象要素の、線分間の領域内の部分を削除します。

カット対象要素：線、円、弧

※領域は線分の端点を結んだ四角形になります。

2つの線分を選択します。

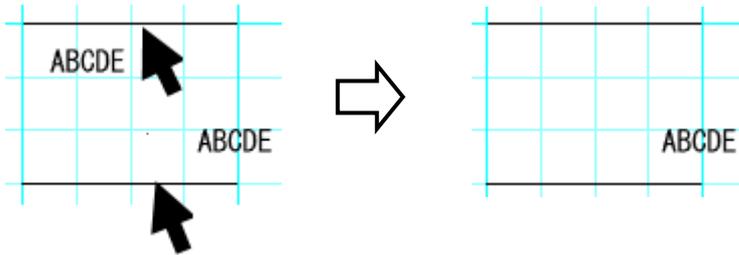


「文字列も削除対象」チェックボックス

ON にすると、線分間の文字列も削除されます。

※OFF の時は、線分間の文字列は削除されません。

2つの線分を選択します。



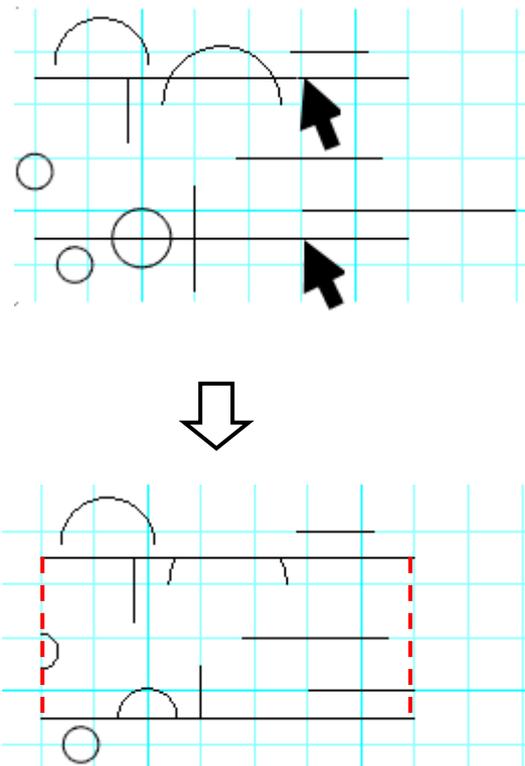
2) 外消

カット線分にまたがっている対象要素の、線分間の領域外の部分を削除します。

カット対象要素：線、円、弧

※領域は線分の端点を結んだ四角形になります。

2つの線分を選択します。



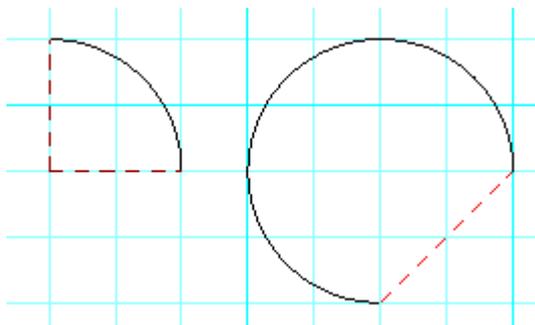
6-6. 円弧削除



操作の補足

※削除したい要素を複数選択するには、選択したい要素をドラッグ操作で範囲選択するか、Ctrl キーを押しながら削除したい要素を順にクリックし、選択完了時に任意の位置でダブルクリックし選択確定します。(外消も同様)

※弧の領域は 180°未満は弧の中心点と端点を結んだ領域で、180°以上は弧の端点を結んだ領域になります。(外消も同様)

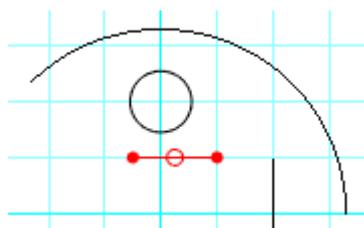


1) 内消

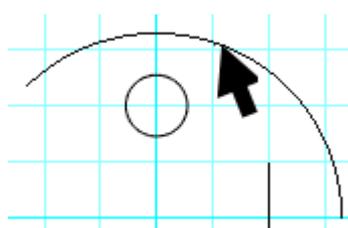
削除する要素を選択し、円弧領域を指示してその円弧の内側の領域に完全に含まれる対象要素を削除します。

削除対象要素：点、線、連続線、矩形、円、弧、文字、寸法線、半径寸法線、角度寸法線、引出線、ハンチ引出線、ハッチング

削除したい要素を選択します。



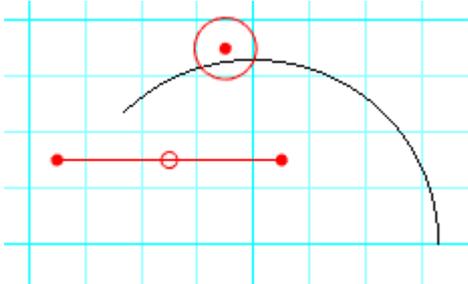
円弧を指示します。



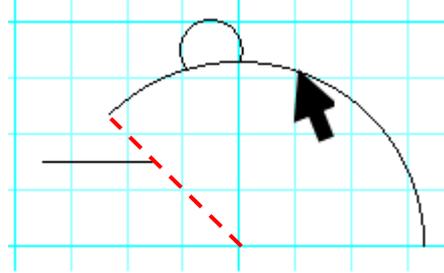
円弧にまたがっている対象要素の、円弧領域内の部分を削除します。

カット対象要素：線、円、弧

削除したい要素を選択します。



円弧を指示します。

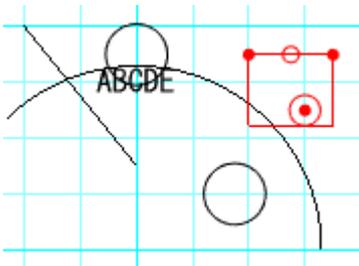


2) 外消

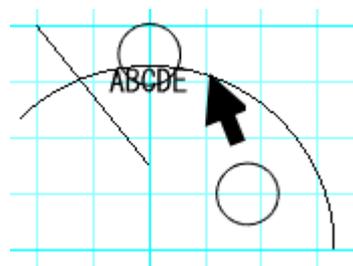
削除する要素を選択し、円弧領域を指示してその円弧領域の外側にある対象要素を削除します。

削除対象要素：点、線、連続線、矩形、円、弧、文字、寸法線、半径寸法線、角度寸法線、引出線、ハンチ引出線、ハッチング

削除したい要素を選択します。



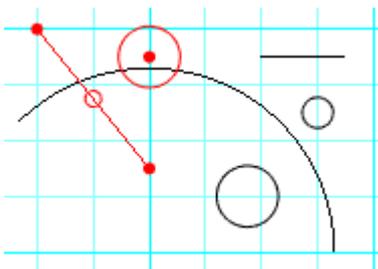
円弧を指示します。



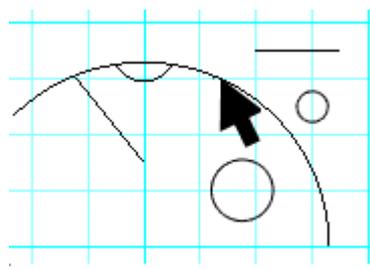
円弧にまたがっている対象要素の、円弧の領域外の部分を削除します。

カット対象要素：線、円、弧

削除したい要素を選択します。



円弧を指示します。



6-7. クリップ

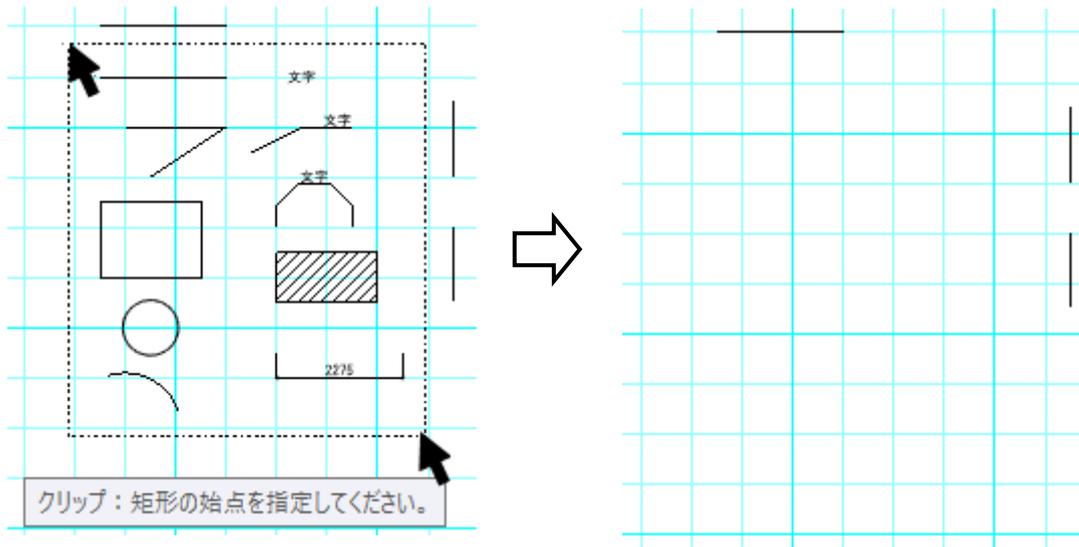


1) 内消

マウスをドラッグした矩形範囲内の対象要素を削除します。

削除対象要素：点、線、連続線、矩形、円、弧、文字、寸法線、半径寸法線、角度寸法線、引出線、ハンチ引出線、ハッチング

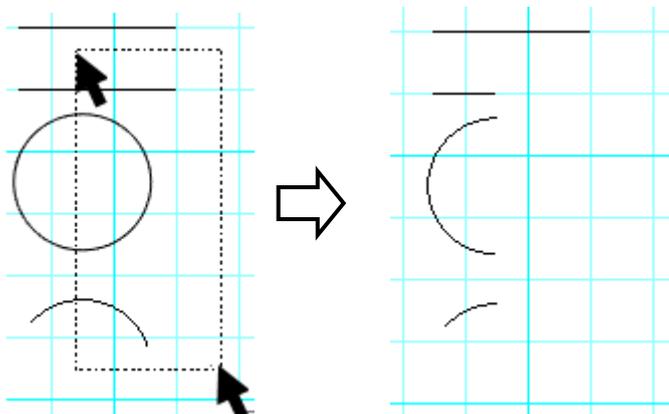
マウスドラッグで範囲選択します。



マウスをドラッグした矩形ラインにまたがっている対象要素の、矩形範囲内の部分を削除します。

カット対象要素：線、円、弧

マウスドラッグで範囲選択します。

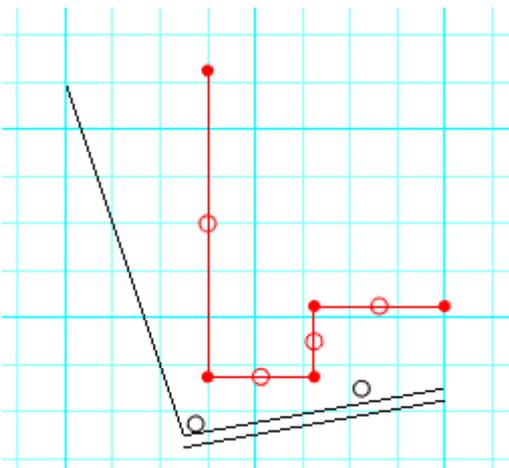


選択前提ボタン

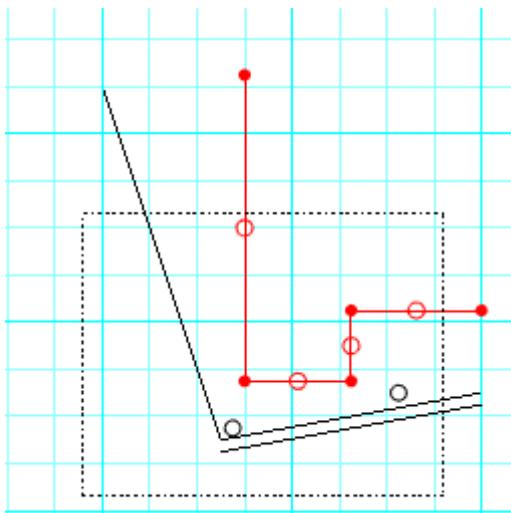


削除対象にする要素を事前を選択するモードになります。
押すと、ボタンの表示は消えます。

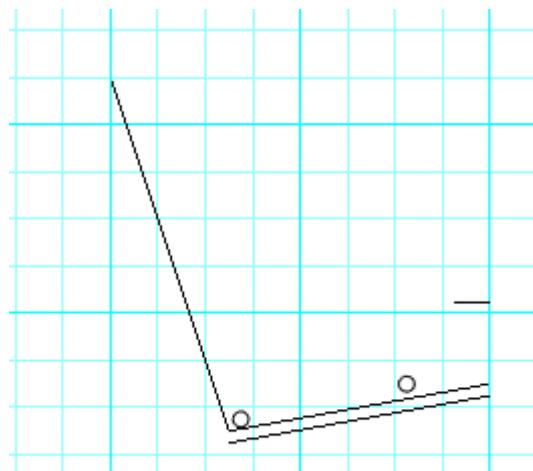
削除対象要素を選択します



マウสดラッグで範囲選択します



削除対象要素のみ削除されます

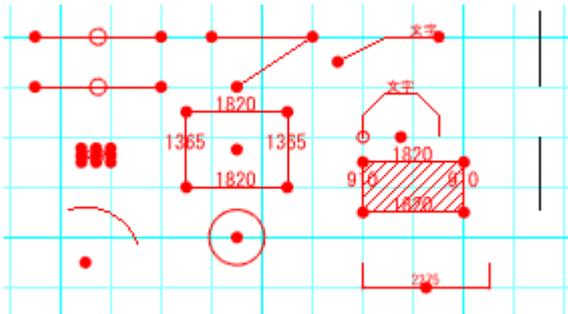


2) 外消

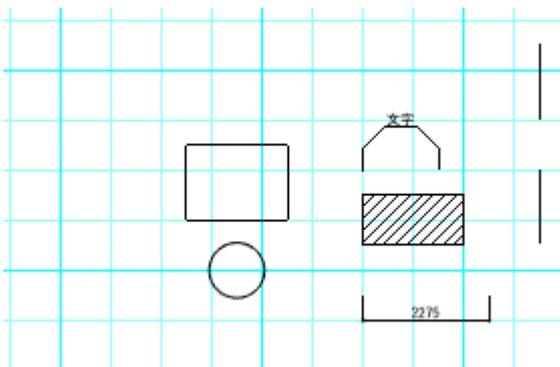
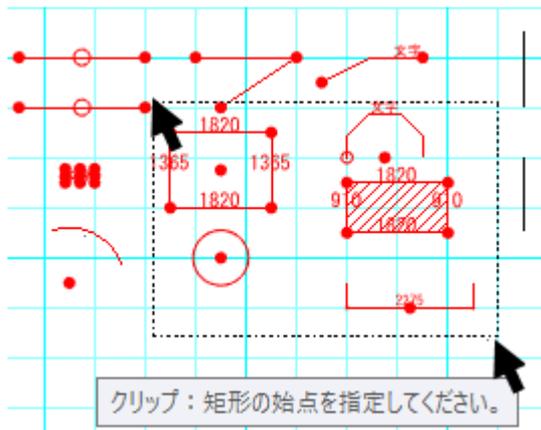
削除する要素を選択し、マウスをドラッグした矩形範囲内の対象要素を削除します。

削除対象要素：点、線、連続線、矩形、円、弧、文字、寸法線、半径寸法線、角度寸法線、引出線、ハンチ引出線、ハッチング

削除したい要素を含めて選択します。



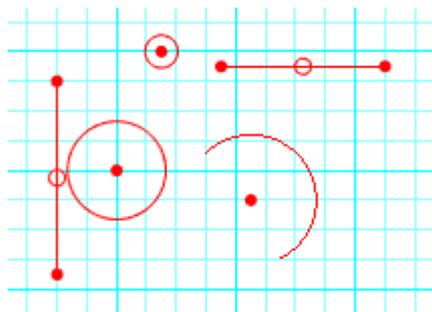
上図のうち、残す範囲をマウスドラッグで範囲選択します。



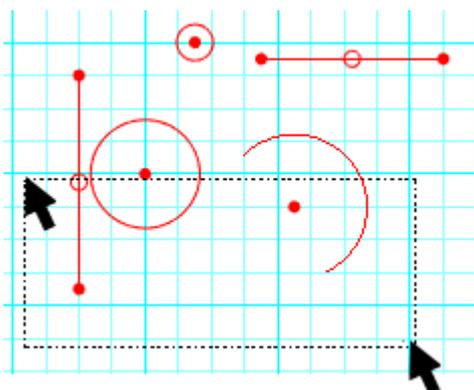
削除する要素を選択し、マウスをドラッグした矩形ラインにまたがっている対象要素の、矩形範囲外の部分を削除します。

カット対象要素：線、円、弧

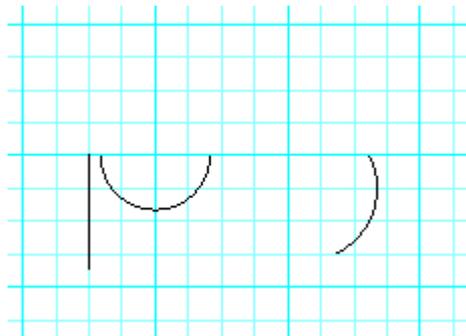
削除したい要素を含めて選択します。



上図のうち、残す範囲をマウスドラッグで範囲選択します。



線、円、円弧は上記矩形ラインにまたがる部分はカットされます。



6-8. 文字クリップ

入力されている文字要素を選択し、その文字要素に重なっている下書き線要素を削除します。

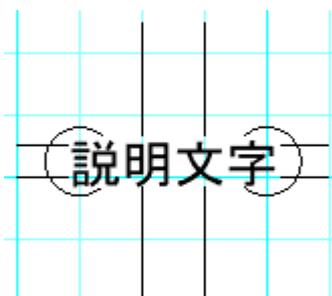
削除時に部分的にカットされる要素：線、円、弧

クリップする範囲に完全に含まれている時、削除される要素：点、線、連続線、矩形、円、弧、文字、寸法線、半径寸法線、角度寸法線、引出線、ハンチ引出線、ハッチング

文字を選択し、OK を押します。



文字に重なっている下書き線が削除されます



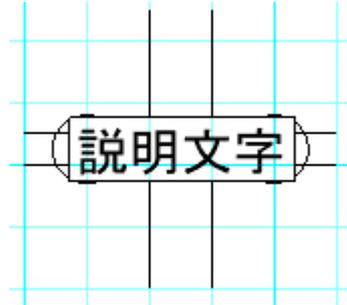
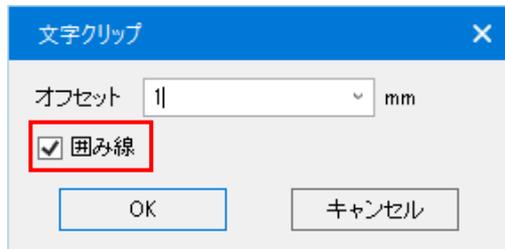
1) オフセット

文字の周囲の削除範囲を設定します。



2) 囲み線

チェックを入れると文字の周囲に囲み線が表示されます。



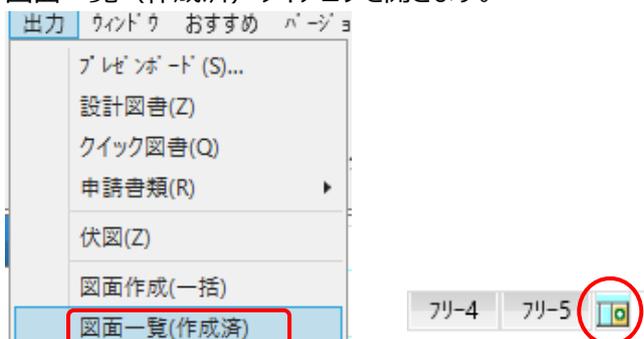
7. 図面バックアップ

図面編集画面で加筆修正等、編集した図面は再度出力から図面作成をすると、先の編集内容は消えてしまいます。再出力後に以前編集したデータを使用したい場合は、再出力する前にあらかじめ図面バックアップをしておけばそのバックアップした図面の要素をコピーし、編集する図面に貼り付けすることで再編集に利用することができます。

※図面バックアップした図面自体を設計図書に出力することはできません。

7-1. 編集図面のバックアップ

図面一覧（作成済）ダイアログを開きます。



バックアップする図面を選択し、「図面バックアップ」ボタンを押します。

図面一覧(作成済)

プラン変更日時 2021/03/23 15:13:22

No	グループ	図面タイプ	図面名称	作成・更新日時
1	意匠図	配置図	配置図	2021/03/23 18:29
2	意匠図	平面詳細図	1階平面詳細図	2021/03/23 15:16
3	意匠図	平面詳細図	2階平面詳細図	2021/03/23 15:14
4	意匠図	東立面図	東側立面図	2021/03/23 15:14
5	意匠図	南立面図	南側立面図	2021/03/23 15:14
6	意匠図	西立面図	西側立面図	2021/03/23 15:14
7	意匠図	北立面図	北側立面図	2021/03/23 15:14
8	フリーレイヤ(1-20)	(1)フリー-1	フリー-1	2020/12/02 11:27
9	フリーレイヤ(1-20)	(2)フリー-2	フリー-2	2020/12/02 11:27
10	フリーレイヤ(1-20)	(3)フリー-3	フリー-3	2020/12/02 11:26
11	フリーレイヤ(1-20)	(4)フリー-4	フリー-4	2020/12/02 11:26
12	フリーレイヤ(1-20)	(5)フリー-5	フリー-5	2020/12/02 11:26

プレビュー

図面バックアップ

削除

選択図面を開く 閉じる

リストにバックアップした図面が表示されます。

図面名称の前方に「bk_」後方に図面バックアップ日時が付加されます。

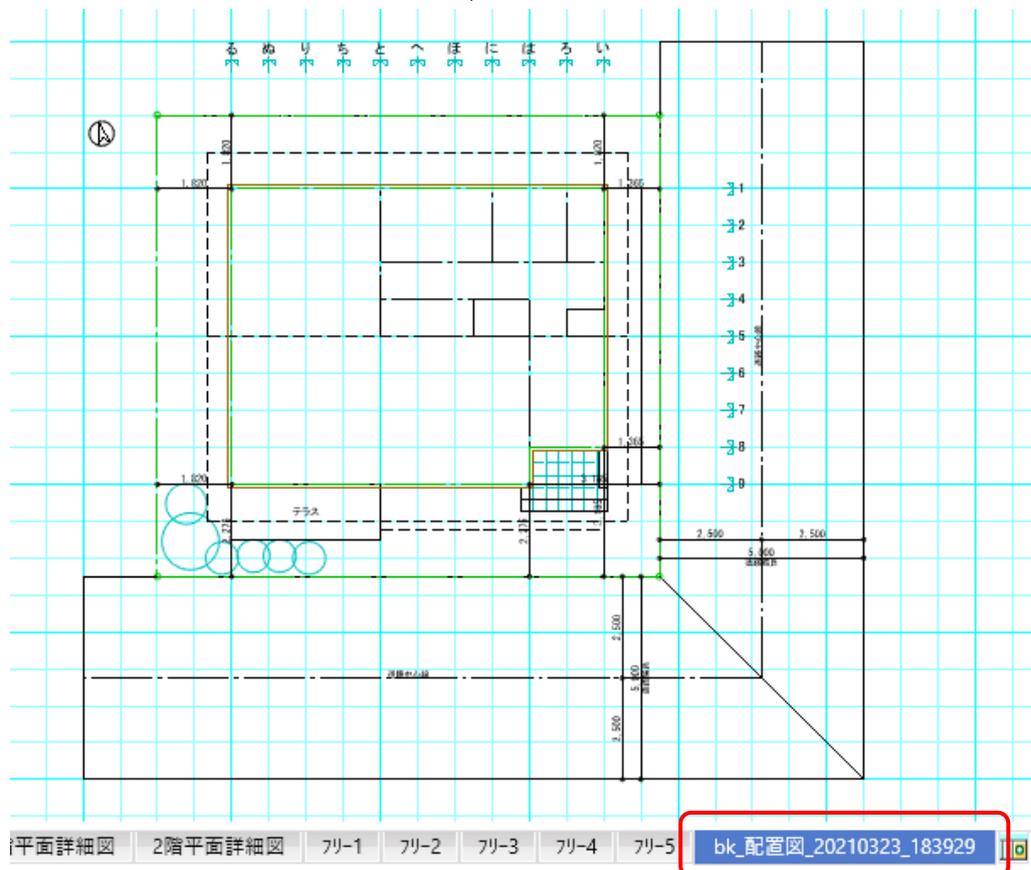
11	フリーレイヤ(1-20)	(4)フリー4	フリー4	2020/12/02 11:26
12	フリーレイヤ(1-20)	(5)フリー5	フリー5	2020/12/02 11:26
13	意匠図	配置図	bk_配置図_20210323_183929	2021/03/23 18:39

7-2. バックアップした図面の表示

リストから、バックアップした図面を選択し「選択図面を開く」ボタンを押すとその図面が入力画面に表示されます。

表示された図面は再度編集が可能です。

ctrl キーや shift キーを押しながら複数選択する事ができます。



7-3. バックアップした図面の削除

リストから削除したいバックアップ図面を選択し、削除ボタンを押すとバックアップ図面データが削除されます。

ctrl キーや shift キーを押しながら複数選択する事ができます

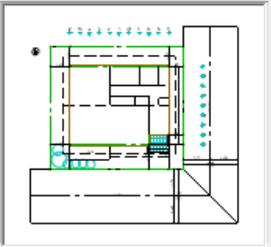
※バックアップした図面以外の図面は削除できません。

図面一覧(作成済)

プラン変更日時 2021/03/23 15:13:22

No	グループ	図面タイプ	図面名称	作成・更新日時
1	意匠図	配置図	配置図	2021/03/23 19:01
2	意匠図	平面詳細図	1階平面詳細図	2021/03/23 15:16
3	意匠図	平面詳細図	2階平面詳細図	2021/03/23 15:14
4	意匠図	東立面図	東側立面図	2021/03/23 15:14
5	意匠図	南立面図	南側立面図	2021/03/23 15:14
6	意匠図	西立面図	西側立面図	2021/03/23 15:14
7	意匠図	北立面図	北側立面図	2021/03/23 15:14
8	フリーレイヤ(1-20)	(1)フリー-1	フリー-1	2021/03/23 18:31
9	フリーレイヤ(1-20)	(2)フリー-2	フリー-2	2020/12/02 11:27
10	フリーレイヤ(1-20)	(3)フリー-3	フリー-3	2020/12/02 11:26
11	フリーレイヤ(1-20)	(4)フリー-4	フリー-4	2020/12/02 11:26
12	フリーレイヤ(1-20)	(5)フリー-5	フリー-5	2020/12/02 11:26
13	意匠図	配置図	bk_配置図_20210323_183929	2021/03/23 19:01
14	意匠図	配置図	bk_配置図_20210323_192740	2021/03/23 19:27

プレビュー



図面バックアップ

削除

選択図面を開く

閉じる